

中級

よ な く に し ま  
与那国島

どうなんむめい  
たんごちょう

沖縄県しまくとぅば普及センター

沖縄県



## はじめに

与那国島には、独自の歴史と文化があります。そして、どんなむぬいも他の沖縄県のシマクトゥバには独自の特徴を持った個性的なことばです。今、その大切などんなむぬいが「消滅の危機」に直面しています。平成21年にユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が発表した「消滅の危機にある言語・方言」の中で沖縄県は5つの地域のことばが指定されました。その中でどんなむぬいは“消滅の重大な危機”にある、とされています。この危機を乗り越えるために、私たちはどんなむぬいを学んで、未来につなげていく事が必要です。そして、皆さん一人一人が主役となってこの豊かな「しま」の文化の担い手となり、全世界へ与那国の美しさを伝える事の出来る人になってもらえるように願っています。

この「単語帳」には日常で使う表現を多く取り入れました。『しまくとぅば読本』（小学生用）も参考にしています。与那国を愛する多くのみなさんがこの「単語帳」を入り口にしてどんなむぬいの世界に親しんでくださいますようお願いいたします。

ちまむぬい あたら きー、いちばぎん ぬぐし ひんだんぎ、ぎはい とぅらしわり。

（島のことばを大切に、いつまでも残していけるように頑張ってください。）

2023年3月13日

沖縄県しまくとぅば普及センター  
センター長 狩俣 繁久

# よ な くに じま 与那国島について

## ①与那国島について

与那国島は、<sup>おきなわけん や え やまぐん ぞく</sup>沖縄県八重山郡に属する、<sup>にほんさいせいたん しま</sup>日本最西端の島です。与那国島は、<sup>おきなわほんとう</sup>沖縄本島から<sup>なんせい やく</sup>南西へ約509km、<sup>いしがきしま</sup>石垣島からは約127km離れています。与那国町は、<sup>ぞない</sup>祖納、<sup>ひがわ</sup>比川、<sup>くぶら みつ</sup>久部良の三つの集落<sup>しゅうらく</sup>があります。祖納は<sup>まちやくば</sup>町役場があり<sup>ぎょうせいとう</sup>行政等の中心です。比川は与那国の始まりの地<sup>はじ</sup>と言われています。久部良は漁業の中心地<sup>ちゅうしんち</sup>です。

## ②どうなんむぬいの特徴

よ な くに の ことば ( <sup>ほうげん</sup> 方言 ) の こと を 「 どう なん む ぬ い 」 と い い ま す 。 一 つ の 方 言 の 特 徴 は 、 語 い ・ 文 法 ・ 音 声 の 観 点 か ら 決 め な け れ ば な り ま せ ン 。 語 い ・ 文 法 の 研 究 は 特 に 進 ん で い な い の で 、 こ こ で は 、 音 声 の 観 点 に 絞 っ て 、 どう なん む ぬ い の 特 徴 に つ い て 述 べ ま す 。

どうなんむぬいの音声の主な特徴は、(1)基本的に母音が「あ」「い」「う」の三つであること(「え」と「お」は、文の終わりにくっつける「いえ」「よ」「ど」にのみ現れる)、(2)か行とた行には「かたい音」と「やわらかい音」の区別があること[例：かいぶん(買って いる) / ‘かいぶん(使って いる)、た一(田) / ‘た一(舌)]、(3)「が」と「か°(はなごえ音)」の区別があること[例：あがい(明かり)、あか°い(東)]、(4)や行がだ行の音になる場合があること[例：だま(山やま)、どう(湯ゆ)]、(5)長い音はあるが短い音と区別しないことです。

# どなんむぬい

## この単語帳の見方

### 1. この本のくみたち

この本は「どなんむぬい五十音引き」と「共通語引き」の2部から組み立てられています。

### 2. 「どなんむぬい五十音引き」について

- 1 どなんむぬいを五十音順に並べています。
- 2 2つ以上の言葉を「・」で並べて書いてある見出しの言葉は、その地域で2通り以上の言い方がある言葉です。
- 3 言葉の前または後ろにある「～」は、言葉がつづくことを表しています。
- 4 2つ以上の言葉がくっついてできた言葉の成り立ちを示すために、その語を形作る単語の間を少し空けました。注意して見てください。
- 5 単語の中でも( )の中に長音記号の「ー」やつまる音の「っ」などが入っているものは、「ー」や「っ」などがある読み方となない読み方の2通りあることを表しています。

[例：あら(ー)ぐ=あらぐ/あらーぐ.あ(っ)た=あた/あった.]

### 3. 「共通語引き」について

- ① 共通語を五十音順に並べ、その言葉にあたるどうなんむぬいを示しています。
- ② 言葉の前または後ろにある「～」は、言葉がつづくことを表しています。

### 4. 特別な発音を表すひらがなについて

どうなんむぬいの中には、わたしたちが普段使っていない発音があり、それを書き表す特別のひらがなを使っています。特別なひらがなについてまとめます。

また、令和4年3月に、沖縄県文化観光スポーツ部から「沖縄県における「しまくとぅば」の表記についてが提起されましたが、これは、沖縄県にある各地の方言（言語）のことばを同じように（共通して）書き表すためのカタカナ表記であって、多くの琉球方言研究者によって最新の研究成果を活かして作られた、確かなものです。今後のことを考えて、下の説明でもこの表記法による書き表し方をのせておきます（以下、「沖共表」と略します）。

#### ① 「か」「き」「く」について

「か」「き」「く」は、与那国方言を話す島の人たちがつよく気にかけている音です。「か」「き」「く」は、鼻の奥に強くひびくような音なので、はなごえ音と呼ぶことにします。【沖共表】  
か、キ、ク

[例：あが<sup>ひがし</sup>い(東). ‘つあき<sup>しら げ</sup>(白髪). かい<sup>たまご</sup>く(卵).]

## 2 「´」について

「か」「た」の左上に小さい「´」がついている「か」「た」という音があります。この音は、「っ」のような「つまる音」のある単語の発音と似ています。「´」がついている単語の発音は、「つまる音」の発音よりも短く発音します。「´」がついている単語の発音は、何もつかない音よりもノドに力を入れて固まった形で言うので、「かたい音」と呼びます。音声(音韻)研究では、この音のことを「喉頭化音」と呼んで、「?」という記号を使います。【沖共表】?か、?キ、?ク、?タ、?ティ、?トゥ

[例：´かい ぶん(使って いる). ´たー(舌).]

## 3 「いえ」について

「いえ」は、下に線を引いて示してあるように、聞きなれたもので言うと、英語の「Yeah(日本語：イエーイ)」や「Yes(イエス)」に近い音を書き表しています。「いえ」は、どうなんむぬいでは、「まんいえー(おいしいね)」と言う、話し相手に同意を求めるたずね文の言い終わりに現れることが多いです。「いえ」は、「い」のあとに「え」をつづけて言うのですが、「いえ(家)」とはちがう言い方になります。「いえ(家)」の場合は、「い」をはっきり言いますが、「いえ」のばあいは、「い」を軽く、短く出して、すぐに「え」をつづけて言います。【沖共表】イエ

[例：まー ひるんいえー(もう 行こうね)]

#### 4 「どわ」について

与那国には、数は少ないですが、「どわ」という音があります。「どわ」を言うのにも、いくつかの手順<sup>てしゅん</sup>を意識しなければいけません。沖縄<sup>おきなわ</sup>で有名な言葉<sup>ことば</sup>に「ぬちどう宝<sup>たから</sup>(命<sup>いのち</sup>こそ宝だ)」という言葉があります。「どわ」は、この「ぬちどう宝」の「どう」を使って言います。まず、「どう」のすぐあとに、軽く、短く「あ」をつづけて言います。「どう」のすぐあとに「あ」をつづけて言って出る音が、「どわ」という音になります。という単語の発音<sup>はつおん</sup>のときにあらわれます。【沖共表】小さい「わ」の代わりに「ア」を使います。トア、ドア、クア、?クア、スア、ファ、プア、ブア、ヌア、ムア

[例：どわい(お祝い). どわん(弱い). どわん(暗い).]

#### 5 「(ー)」「(っ)」の有無<sup>うむ</sup>について

[例：だ(ー)[家]. あ(っ)た[明日]. ]

### 5. < > について

< > は、言葉<sup>ことば</sup>の意味<sup>いみ</sup>の説明<sup>せつめい</sup>です。

### 6. 共通語<sup>らんご</sup>の欄<sup>らん</sup>の①、②、③について

どうなんむぬい<sup>いみ</sup>の意味<sup>いみ</sup>がたくさんある単語<sup>たんご</sup>には、①、②、③と、意味<sup>いみ</sup>のちがいをそれぞれ示<sup>しめ</sup>しました。

## 7. 単語・語いと文法

単語とは、いくつかの音をつなげて言って、身の回りのものごとを表すことばです。身の回りのものごとには、おなじような、にているものがありますし、ちがうものもあります。そのため、にているもの、ちがっているものを表すために、さまざまな単語の仲間・グループがあります。この単語のグループのことを語いと言います。

語いには名詞、動詞、形容詞、副詞という四つのグループがあります。名詞は、人（お母さん）や生き物（犬）、物（えんぴつ）を表し、動詞は、それらの動き（歩く、飛ぶ）、変化（割れる、折れる）を表します。形容詞は、人や生き物、物の特徴（かたい、やわらかい）を表します。副詞は、動きや変化のし方（歯をごしごし磨く）、特徴の具合（とてもおいしい）、つまり、ようす、量・程度を表します。単語の表す、これらの意味のことを語い的な意味と言います。

わたしたちは、これらの単語をつかって文を組み立て、その文をつかって話したり聞いたりしています。単語で文を組み立てたり、文を使ったりするときのきまりのことを文法と言います。文法にしたがって、単語や文は、文法的なものを持っています。本書では、文法的なものを言い表すために「連用形」などの言葉で説明しています。下に、必要な文法のための言葉についてまとめておきます。

- 連用形：いくつかの動きは、さきにやることであったり、あとにやることであったり、あるいは、同じ時にいっしょにやることであったりします（例：薬を飲<sup>くす</sup>んで、ねる）。また、一つの物には、一つ、二つ、いくつかの特徴があります（大谷翔平は、背が高<sup>たか</sup>くて、大<sup>おお</sup>きい）。さきに、あとに、同じ時にやること、ある物のいくつかの特徴をさきに並べる、「飲んで」や「高くて」などの言い方・単語の形のことを連用形と言います。さらに、連用形をつかっていろいろな言い方を作ることができます（例：飲んでください〈頼む言い方〉）
- 連体形：わたしたちの身の回りには、パッケージやラベルなど、見た目はちがうけど、同じものがたくさんあります。そのようなとき、他のものからとり分けて何かを選<sup>えら</sup>び出したり決めつけたり（例：ジュース飲<sup>のみ</sup>む人？）、どんなものかその特徴<sup>とくちょう</sup>を飾<sup>かぎ</sup>りつけたりして（大<sup>おお</sup>きな魚<sup>さかな</sup>を釣<sup>つ</sup>ったよ）、くわしく伝えなければなりません。選<sup>えら</sup>び出して決めつけたり、特徴を飾<sup>かぎ</sup>りつけたりする、「飲<sup>のみ</sup>む人？」、「大<sup>おお</sup>きな魚<sup>さかな</sup>」など、線を引いて示した言い方・単語の形のことを連体形と言います。
- YesNo たずね文は、「ジュース飲<sup>のみ</sup>む？」などのように、飲<sup>のみ</sup>むか（はい、Yes）、飲<sup>のみ</sup>まないか（いいえ・ううん、No）についてたずねる文のことを言います。
- 疑問詞たずね文は、「何飲<sup>のみ</sup>む？」「いつやるの？」などの「何」「いつ」といった言葉（疑問詞）をつかって、それについてたずねる文のことを言います。

## 目. この「単語帳」を作るために調べた主な辞典

- ・与那国町教育委員会『どっなんむぬい辞典』(2019年 南山舎)。
- ・国立国語研究所編『沖縄語辞典』(1963年 旧大蔵省印刷局)。
- ・新村出編『広辞苑 第七版』(2018年 岩波書店)。
- ・金田一京助編『例解学習国語辞典 第十版』(2017年 小学館)。



どっなんむっい

こじゅうおんび

五十音引き

# どっなんむめい

## こじゅうおんび 五十音引き もくじ

あ ..... p.14

い ..... p.18

う ..... p.22

か ..... p.25

き ..... p.28

く ..... p.30

こ ..... p.32

さ ..... p.33

し ..... p.34

す ..... p.35

た ..... p.37

ち ..... p.40

つ ..... p.42

て ..... p.42

と ..... p.43

な ..... p.47



に ..... p.49

ぬ ..... p.49

は ..... p.50

ひ ..... p.53

ふ ..... p.54

へ ..... p.55

ま ..... p.56

み ..... p.57

む ..... p.58

や ..... p.60

よ ..... p.60

り ..... p.60

わ ..... p.60

ん ..... p.61

あ

あいさてい ▶ あいさつ

あいてい ▶ あって [—ということがあって]

～あが ▶ ①しかし。②～だけど。③でも。

あが ▶ わたし私の

あかばな ▶ ハイビスカス しよくぶつ〈植物〉

あがばな ▶ ハイビスカス しよくぶつ〈植物〉

あがみが ▶ こ子どもが

あがみ(てい)んたんき ▶ 子どもたちに

あがみんた ▶ 子どもたち

あがんき ▶ アカギ しよくぶつ〈植物〉

あさとう ▶ おじいさんと

あさや ▶ おじいさんは

あさんき ▶ おじいさんに

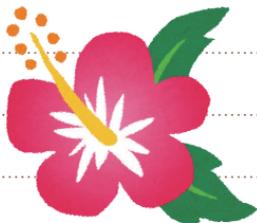
あさんでい ▶ おじいさんと

あたいぶたん ▶ あ合っていた

あたいぶん ▶ ①合っている。②に あ似合っている。③合う

あたいぶんがら ▶ 似合っているから

～あたな ぶん〈YesNoたずね文〉 ▶ ～だったか？



～あたや▶～だったら〈前置き〉

あたらき▶大切に

あたらる▶大切な

あたらん▶大切

あたるん▶①合う。②似合う。

～あたん▶～だった

あちらい▶注文

あちらいきるかや▶注文しようかなど

あつたいえ▶明日ね

あでい▶按司

あでいが▶按司が

～あていがい▶～そうだ〈動詞・形容詞の連体形のあとに付け加えて、伝え聞いたことや考えていることを表す〉

あどうびら▶かかと

あぬばぎん／あぬん▶私わたしも

あぬや▶私は

あぬんきばぎん▶私にも

あばていどうぶる▶急いそいでいる

あばていぶるばすや。どうりーどうり。(とうぐとうい。だらな)▶急いそいでいるときは。ゆっくり [落ち着け]〈ことわざ〉



あばていり ▶ ①急いで〈命令〉。②早く [しろ] !

あびたん ▶ 呼んだ

あびてい ▶ ①呼んで〜〈連用形〉。②話して〜〈連用形〉。

あびやるはな ▶ きれいな花

あびやるんなに ▶ きれいな着物

あびゃん ▶ ①呼んだ。②きれいだ / 美しい。

あびゃんいえー ▶ きれいだね

あびゃんすや ▶ きれいだな

あびらりぶたん ▶ 呼ばれていた / 言われていた。

あびり ▶ ①話して〈命令形・頼む形〉。②呼んで〈命令形・頼む形〉。

あぶ ▶ 洞窟

あぶがら ▶ おばあさんから

あぶたばぎん / あぶたん ▶ お母さんも

あぶたふがに たーん んなぬん ▶ お母さん以外誰も見ない

あまわり ▶ 阿麻和利〈人名〉

あまわりとう / あまわりんてい ▶ 阿麻和利と

あめりかー / あめりかんとぅ ▶ アメリカ人

あやひーんでいうまりる ▶ 満足する

～あらぬかや ▶ ～ではないか〈動詞の連用形や名詞のあとに言って、  
疑いながら考えていることを伝える言い方〉

～あらぬん▶～ではない めいし〈名詞を言い終わりに使う文の否定形〉 ぶん ひていけい

あるかや▶あるかな

あるはでい▶あるだろう

あん▶ある

～(どう)あんが▶が/けれども [～だが]

あんしゃみ▶アオドウガネ こんちゅう〈昆虫〉

あんど▶あるよ

あんぱりるん▶あそ遊べる

あんぱりるんど▶遊べるぞ

あんび▶遊び

あんびが▶遊びが

あんびたん/あんびゃん▶遊んだ

あんびどうぐる▶ば遊び場

あんびぶん▶遊んでいる

あんびんさん▶遊んでいい

あんびんさんど▶遊んでいいよ

あんびんだぎ(いえ)▶①遊ぼう。②遊ぼうぜ/遊ぼうよ。

あんびんてい▶遊びに

あんぶどうぐるばぎん▶遊び場も

あんぶな/あんぶない▶遊ぶか



あんぼ ▶ 遊ぼうぜ / 遊ぼうよ。

い

いー [しまった!] ▶ ああ

いーすがてい ▶ ① <sup>よ</sup>良いお正月。② <sup>しょうがつ</sup>良いお正月です。

いーすがていどう <sup>ないぶる</sup> ▶ 良いお正月になったね

いーち ▶ 良い日

いーとう ▶ <sup>ひと</sup>良い人

いーとうち ▶ <sup>しんねん</sup>新年。 / <sup>あらたま</sup>新玉。

いーはいどうぐる / いーはいみしや ▶ レストラン

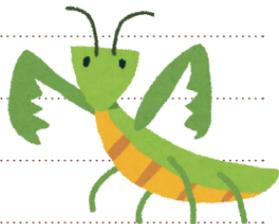
いーはいどうぐるんき / いーはいみしやんき ▶ レストランに

いーわしき ▶ <sup>よ</sup>良い<sup>てんき</sup>天気

いえ ▶ ですね

いえ 〈目下(めした)に〉 ▶ はい

いさとうまい ▶ カマキリ 〈<sup>こんちゅう</sup>昆虫〉



いし ▶ ① <sup>おこな</sup>行<sup>れんようけい</sup>うの 〈連用形〉。② やる 〈連用形〉

いしいし ▶ そうそう

いしえー ▶ そうだねえ

(~)いしてい ▶ (~を)して

いしていがら ▶ してから

～いしどうらい▶～してくれ/してちょうだい〈動詞の  
れんようけい 連用形の後あとにい言たのって、い頼いらいみ・あらわ依頼を表す〉

いしどうらいよ▶しなさいね/してちょうだいね

～いしどうらしわり▶～してください〈動詞の連用形の後  
 に言ていねいって、頼み・依頼を表す丁寧な言い方。おもに目上めうえの人に使う〉

いしな▶そうか？

いしない▶そうなの？ そうかね。

いしぶたん▶①行いっていた。②していいた

～いしぶるむぬ▶～しているもの

いしぶん▶している。やっている。

～いしぶん▶～している

いしやん▶①行いなった。②やいった

いしやんど▶したよ。やいったよ。

～いしわり▶～らっしやい

いしわるな▶しますか〈YesNoたぶんずね文〉

いしんだぎ▶しよう

いしんだぎいえ▶①しようね。②しようよ。

いしんでい▶しに

～いしんでい▶～しに

いしんにんに▶～してごらん

いしんぬ ▶ ①してみよう。②やってみよう。

いしんぬん ▶ ①してみる。②やってみる。

いすがさどうある / いすがさぬ / いすがさん ▶ <sup>いそが</sup>忙しい

いすんとう ▶ <sup>りょうし</sup>漁師

いすんとうんたがら ▶ 漁師たちから

いた ▶ それでは

いたば ▶ そして / それで。

いちばぎん ▶ いつまでも

いちむち ▶ <sup>い もの どうぶつ こんちゆう</sup>生き物 [動物・昆虫] の

いていていわり ▶ ①行ってください。②行ってらっしゃい。

いていていわりよ ▶ 行ってらっしゃいよ

いでいんが ▶ <sup>いじ</sup>意地が

いでいんでいり ▶ <sup>がんば</sup>頑張って <<sup>はげ</sup>励ます、<sup>おうえん</sup>応援する言い方>

いとうばす ▶ イトバショウ <<sup>しよくぶつ</sup>植物>

いなむぬきるん ▶ <sup>こころ</sup>心が痛む / <sup>こうかい</sup>後悔する。

いぬちん ▶ <sup>はん</sup>ご飯つぶ

いみあんまさ ▶ <sup>むなさわ</sup>胸騒ぎするさま

いやばぎん / いやん ▶ <sup>とう</sup>お父さんも

いらぶかや ▶ <sup>えら</sup>選ぶかな

いらぶんさい ▶ 選ぶだろ / でしょ



いらぶんでや ▶ 選ぶさ

いらりたん ▶ された (受身)

いらりゃん ▶ された (受身)

いり(きり) ▶ しなさい

いりび [西の土地] ▶ 久部良の

いりびぬ ▶ 久部良の

いりぶさん ▶ 入れたいな

いりよ ▶ しなさいね。 / やりなさいよ。

いりるかや / いりるな ▶ 入れようか

いりんでやな <怒っている印象。より強く命令しているニュアンス>  
▶ やりなさいよ

いるいる ▶ いろいろな

いるいるなむぬ ▶ 色々なもの

いるが ▶ しかし。 / でも。

いるが(どう) ▶ しかし

いるかや ▶ やろうかな

いるはどうやんき ▶ カワセミ <鳥類> に

いるまかるま ▶ あれやこれや

いるん ▶ ① 行う。 ② やる。

～いるんでい ▶ ～するために



いるんな? 〈YesNoたずね文〉 ▶ しますか

いるんなむぬ ▶ 色々なもの

う

ういかぎ / ういかぎてい ▶ 追いかけて〜 〈連用形〉

ういかぎるん ▶ 追いかける

ういとうらい / ういとうらしわり ▶ [売って] ください

ういに ▶ 売れ 「売れ・売って 〈頼み〉」 の形

うお 〈目上(めうえ)に〉 ▶ はい

うがも ▶ よろしくお願ひします

うぎり ▶ 起きなさい

うぐしがしや 〈条件、きっかけ〉 ▶ 起こしてくれれば

(ちむがら)うぐしどうぶる ▶ (心から)いとおいしい

うぐしとうらいよ / うぐしとうらしんに ▶ 起こして

(ちょうだい)ね

うぐしとうらたや 〈前置き〉 / うぐしとうらば ▶ 起こして  
てくれれば

うぐしゃん ▶ 起こした

うぐしゃんでい ▶ 起こしたと

うぐしんに ▶ 起こしてね

うぐりるん ▶ 遅<sup>おく</sup>れる

うぐん ▶ 起<sup>おこ</sup>す

うすとうい ▶ うーとーとー 〈※神<sup>しん</sup>仏<sup>ぶつ</sup>や先<sup>せん</sup>祖<sup>そ</sup>を拜<sup>おが</sup>むと<sup>き</sup>のこ<sup>と</sup>ば〉

うすながなち ▶ 国<sup>こく</sup>王<sup>おう</sup>

うすながなちが ▶ 国<sup>こく</sup>王<sup>おう</sup>が

うちりどうぶる / うちりぶん ▶ 似<sup>に</sup>合<sup>あ</sup>っている

うちりぶんがら ▶ 似<sup>に</sup>合<sup>あ</sup>っているから

うちるん ▶ 似<sup>に</sup>合<sup>あ</sup>う

うつい ▶ 撮<sup>うつ</sup>り

うつしんでい ▶ 撮<sup>うつ</sup>りに。 / 写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>を写<sup>うつ</sup>しに。

うつん ▶ [写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>を] 撮<sup>と</sup>る

うとうしゃん ▶ 落<sup>お</sup>とした

うどうるていみぬん / うどうるてやん ▶ ①驚<sup>おどろ</sup>いた。②たまげた。

うとうん ▶ 落<sup>お</sup>とす

うにてい ▶ そして。 / それで。

うぶくい ▶ 大<sup>おお</sup>声<sup>こゑ</sup>

うぶくいしあびるん ▶ ①大<sup>おお</sup>声<sup>こゑ</sup>で呼<sup>よ</sup>ぶ。②叫<sup>さけ</sup>ぶ。

うまとうまる ▶ この<sup>へん</sup>辺 / ち<sup>こ</sup>ちら。

うまにや ▶ こ<sup>こ</sup>こには

うまや ▶ こ<sup>こ</sup>こは

(ちむがら)うむいぶん▶(心から)いとおしい

うむつつあきるん▶おもしろがる

うむつつあたん▶おもしろかった

うむつつあたんいえ▶おもしろかったね

うむつつあるとう▶ひょうきん者<sup>もの</sup>

うや▶それは

うや くや▶これは

うやぬならし▶ことわざ

うやぬならしや▶ことわざは

うやはぶでい/うやぶでい▶ご先祖様<sup>せんぞさま</sup>

うやはぶでいんき/うやぶでいんき▶ご先祖様に

うやん▶召<sup>め</sup>し上<sup>あ</sup>がる

うやんたぬならし▶ことわざ

うやんたぬならしや▶ことわざは

うらぶだぎ▶宇良部岳<sup>うらぶだけ</sup>〈地名〉<sup>ちめい</sup>

うらぶだぎや▶宇良部岳は

うらぶだぎや んなりるが どうぬみぬまぎや んなにぬん▶宇良部岳は見えるが自分のまつ毛は見えない〈ことわざ〉

うるむさんさんてい▶イワサキクサゼミ〈昆虫〉<sup>こんちゅう</sup>

うんかりん▶あれやこれや

うんな▶①沖繩／沖繩島おきなわ おきなわしま〈地名〉。②那覇なは〈地名〉。

うんなぬ▶①沖繩の。②那覇の。

うんなぬちま▶①沖繩／沖繩島〈地名〉。②那覇〈地名〉。

うんなぬちまぬ▶沖繩島の

うんに～はでい▶たぶん～だろう

うんにあたや▶そうだったら〈前置き・仮定〉

うんにどうあたや▶そうであるならば〈前置き・仮定〉

うんにぬばす▶そんな／そのような時

## か

～が▶のに〈うらめ・くらべの接続詞。つなぎ言葉〉

～が?〈疑問詞たすね文の言い終わりの動詞・形容詞にくつつく形〉

たが くんが? [誰が来るか]▶～か?

‘かい▶①使えつか〈命令〉。②使って。

かい しとうらい▶買ってきてくれ 買ってきてちょうだい

がいき [害する]▶謀反 [害する]

かいぐ▶たまご

かいししていがら▶帰かえってきてから

かいしてい▶帰って

かいしていから▶帰ってから

かいてい▶買って〈連用形〉

‘かいてい▶使<sup>つか</sup>って

‘かいぶな? 〈YesNoたずね文〉▶使っているか

‘かいぶん▶使っている

‘かいぶんが~、〈「使っているのに/使っているけど、~。」などの、  
反対・うらめ・くらのつなぎ言葉〉▶使っているが、~。

‘かいぶんが? 〈疑問詞たずね文〉▶使っているか?

‘かいりり わり▶ご案内<sup>あんない</sup>しましょう

‘かいり▶ご案内/ご招待<sup>しょうたい</sup>。

‘かいるん▶ご案内する/ご招待する。

‘かいんにんだぎ▶使ってみよう

がえー▶ですね

かがたるん▶①大<sup>おお</sup>声<sup>ごえ</sup>で呼<sup>よ</sup>ぶ。②叫<sup>さけ</sup>ぶ。

かがりあん▶書<sup>か</sup>かれてある

かぎや〈原因、理由、きっかけを表す〉▶書くと

かぎらいみぐ<sup>はし</sup>いてい▶走<sup>まわ</sup>り回<sup>まわ</sup>って

かぎらいみぐるん▶走り回<sup>まわ</sup>る

かぐば〈条件、きっかけ〉▶書くと

かだい▶飾<sup>かざ</sup>って〈連用形〉

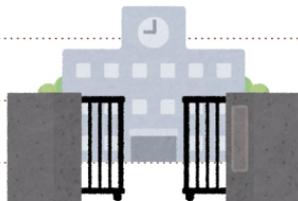
かだいてい ▶ 飾って 〈連用形〉

かだるん ▶ 飾る

がっこう ▶ 学校

がっくんき ▶ 学校へ

かぞい ▶ 数



かていあん ▶ 書いてある

かていがしや 〈条件、きっかけ〉 ▶ 書くと

かていかでい ▶ いろいろな

かていたや 〈前置き・仮定〉 ▶ 書くなら、書くと、

かていむぬ ▶ おかず

かてやん ▶ 書いてある

‘かないぶん ▶ 飼育している

‘かないぶん ▶ 養っている

かなんか ▶ 金城 〈人名〉

かぬかた ▶ あの辺 / あちら。

‘かぬん ▶ ① 養う。② 飼う。

かばん ▶ かばん

かま ▶ あそこ

がま ▶ 洞窟

かまぬ ▶ あそこの

かや▶かな

かりや▶あれや

かりやい▶あれや

かんがいどうぶる▶<sup>かんが</sup>考えている

かんがいぶか▶考えているが〈反対、うらめに出たことを言う〉

かんがいぶん▶考えている

かんがいるん▶考える

がんす▶<sup>いはい</sup>位牌

き

き▶し／して〈「する」の連用形<sup>れんようけい</sup>〉

～(き)ぶさん〈動詞の連用形のあとに言って〉▶(～し)たい

～きーぶん▶～している

きー まらる ‘とう▶<sup>たんき</sup>短気<sup>ひと</sup>な人

きがい ぬるん▶<sup>きげん</sup>機嫌<sup>なお</sup>が直る

きがしや〈条件、きっかけ〉▶①たら。② [～する] と。

きさ▶<sup>さき</sup>先ほど

きさがら▶先ほどから

きたや〈前置き・仮定〉▶①たら。② [～する] と。

きだり [仏事]▶<sup>まつ</sup>祭り／<sup>ぎょうじ</sup>行事。

きつつあ ▶ 先ほど

きつつあがら ▶ 先ほどから

(～)きてい ▶ (～を)して

きていがら ▶ してから

ぎはり ▶ 頑張がんばって [〈命令、励まし〉の意を表す]

きびさる ▶ 見事みごとな

きびさん ▶ 見事

～き(いし)ぶさび ▶ ～したいから

～き(いし)ぶさんがら ▶ ～したいから

きぶたん ▶ していた

～きぶるむぬ ▶ ～しているもの

～きゃん ▶ ～した

きゃんど ▶ したよ

きゅーしょく ▶ 給食きゅうしょく

きゅーしょくに ▶ 給食に

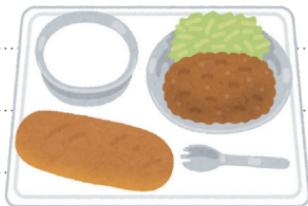
きゅーしょくや ▶ 給食は

きゅーしょくんでい ▶ 給食に

きらりたん ▶ された(受身うけみ)

きらりゃん ▶ された(受身)

きりゃ ▶ ①たら。② [～する] と。



きりよ▶①しなさいね。②しなさいよ。

きりんでやな [怒おこっている印象。より強いんしょうく命令つよして  
いるニュアンス] ▶しなさいよ

きるかや▶しようかな

きるん▶する

～きるんでい▶～するために

きるんな?▶しますか <YesNoたずね文ぶん>

きんだぎ▶しよう

きんだぎいえ▶しようね/しようよ。

きんだぐに▶島しまにんじん

きんたくぬはな▶ホウセンカ <植物しょくぶつ>

きんたくぬはなぬ▶ホウセンカ <植物> の

～きんでい▶～しに

く

‘くい▶作り～/作つくって～。 <連用形れんようけい>

‘くいあるゆんがら▶作つくってあるから

‘くいあん▶作つくってある

‘くいてい▶作り～/作つくって～。 <連用形>

‘くいんだぎ▶①作つくろう。②作つくろうよ

‘くいんにんだぎ▶作ってみよう

くー▶こよう(意志)

くーな? <YesNoたすね文>▶こようか/きましようか。

くーむぬ▶買い物 [買う物]

くぐるがら▶心から

くぐるんさん▶心がやさしい

グシク▶石積み

ぐでいんぶ▶かぎやで風 <うた>

〜くとう▶〜こと

くとうちばぎん▶今年も

くとうちん▶今年も

くとうばし▶言葉で

くとうばや▶言葉は

くな? <YesNoたすね文>▶買うか

くば▶ビロウ <植物>

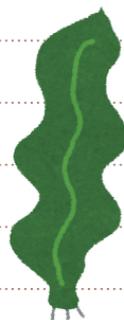
くばはい▶来てよ <すすめる言い方>

くぶ▶昆布

くぶぬはに▶昆布

くぶらぬ▶久部良の

くまにや▶ここには



くまや ▶ ここは

くむいんき / に ▶ 沼地ぬまちに

くくり ▶ 作れ / 作って 〈頼みたのみ〉

くわん ▶ ① 作った。② 作ってある。

くわんがら ▶ 作ってあるから

くん ▶ 来ます [こよう]

くんいえー ▶ 来ますね

くんがらよ ▶ 来ますからね

くんかりん ▶ あれやこれや

くんた ▶ これら

くんど ▶ 来るよ / 来ますよ。

くんどうぐら ▶ 短気たんきな人ひと

こ

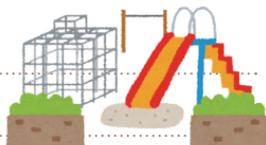
こえん ▶ 公園こうえん

こえんき ひるん ▶ 公園こうえんに 行く

こえんに ぶん ▶ 公園こうえんに いる

ごむとび ▶ ゴム段だんとび

ごむとびし ▶ ゴム段だんとびで



さ

さがいき ▶ ガジュマル しよくぶつ 〈植物〉

さぎ(ん)だぎ ▶ ①下げよう。②下げようよ。

さしん うつしんでい ▶ 写真を撮りに

さしん とういんでい ▶ 写真を撮りに

さしんうつ どうぐる ▶ 写真館 しゃしんかん

さしんうつ どうぐるんき ▶ 写真館へ

さしんとうる どうぐる ▶ 写真館

さしんとうる どうぐるんき ▶ 写真館へ

さていさてい しょうらい ▶ 将来

さていさていや / あとうあとうや ▶ 将来は

さなが ▶ 最中 さいちゆう

さばい ▶ 災い わざわい

さばん ▶ ①湯飲み茶わん。②湯のみ。

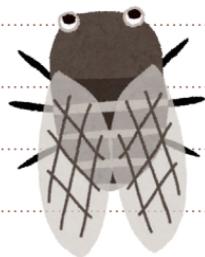
さびつつあん ▶ 寂しい さび

さんさん ▶ ①クマゼミ。②セミ。

さんす ▶ ヒレザンショウ しよくぶつ 〈植物〉

さんすー ▶ 算数 さんすう

さんすぬ ▶ 算数の



さんだい ▶ 仏壇ぶつだんから下げたさごちそう。

さんにん ▶ ゲットウ 〈植物〉

し

〜し ▶ で 〈手段しゅだん〉

しー ▶ 来て、〜。

じーじー ▶ イワサキクサゼミ 〈昆虫こんちゅう〉

しーとうらい ▶ 来てちょうだいよ

しーとうらしんに ▶ 来てちょうだいよ

しかーとう ふがらさ ▶ ありがとうございます

しかっとう ▶ きちんと

しきん ▶ 社会 [世間せけん]

しくだい ▶ 宿題しゅくだい

しくだいや ▶ 宿題は

したた ▶ 急いでいそ

してい ▶ 来て〜。

しまいんだぎ ▶ 終わろうお

しみ ▶ 清明祭せいめいさい

しゃなきぶるんにぶる ▶ うれしそうだね

しゃなきぶんすや ▶ うれしそうだね

しゃなんすや ▶ うれしいね

じゅぎょー ▶ 授業

しゅくだい ▶ 宿題

しゅくだいや ▶ 宿題は

しゅりじょー ▶ ① 首里城。② 首里城正殿。

しょうがっこう ▶ 小学校

しょうがっこうぬ ▶ 小学校の

しんかんだ ▶ 群れ / 臣下たち。

しんしんき ▶ 先生に

しんだんぎ ▶ こよう [勧誘]

しんに ▶ 来て、来てちょうだい [呼ぶ時]

す

すい ▶ 連れて～ 〈連用形〉

すいてい ▶ ① 連れて～ 〈連用形〉。② 率いて 〈連用形〉

すーや ▶ 今日は

すがら ▶ 今日から

すくだい ▶ 宿題

すくだいや ▶ 宿題は

すてーき ▶ ステーキ

すてーきが ▶ ステーキが

すぬ [す] ▶ 今日の

すぶんぐとう [勝負ごと] ▶ 祭り / 行事。

すみ ▶ ①炭。②染めて 〈連用形〉

すみてい ▶ 染めて 〈連用形〉

すみとう ▶ 炭と

すみり ▶ 染めて 〈命令形〉

すみるん ▶ 染める

すりすり ▶ はればれと

すりすりきてい ▶ はればれとした

する ▶ お盆

するい ▶ 揃って 〈連用形〉

するうぐい ▶ お見送り / 精霊送り。

するぬ ▶ お盆の

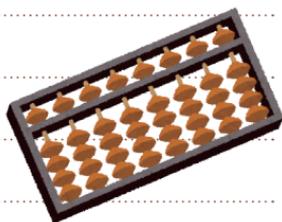
するばん ▶ そろばん

するん ▶ 連れる

すん ▶ ①今日も。②やってきた / きた。

すんき [綱を引く] ▶ 引け

すんきんてい ▶ 引けと



た

‘たーぐ▶<sup>ちか</sup>近く

‘たーぐに(や)▶近くには

だーさどうある▶<sup>くうふく</sup>空腹である

だーだしきや▶<sup>いえやしき</sup>家屋敷や

だーならいが▶家での<sup>なら</sup>習いが

だーに▶家に

たいぐ▶①<sup>いそ</sup>急いで。②<sup>はや</sup>早く～。

たがら▶<sup>たから</sup>宝

たぎ▶<sup>しんちよう</sup>身長

たぎある ‘とう▶<sup>たか</sup>身長の高<sup>ひと</sup>い人

だぎし▶だけで

だぎしや▶だけでは

たぎたがる ‘とう▶身長の高<sup>ひと</sup>い人

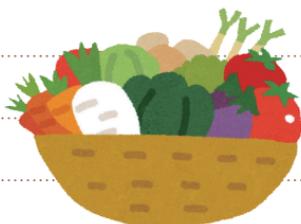
だぐ▶<sup>わざわ</sup>災い

だぐかぐ▶<sup>むし</sup>虫かご

だぐかぐにや▶虫かごには

ださい▶<sup>やさい</sup>野菜

だしーだし(古語)▶<sup>こご</sup>似合う



だしき ▶ <sup>やしき</sup>屋敷

‘たたい ▶ <sup>わざわ</sup>災い

たてい ▶ 立って <sup>めいれい</sup>〈命令〉

たとういるば ▶ <sup>たと</sup>例え

たとういるん ▶ 例える

だはらさ ▶ <sup>びょうじゃく</sup>病弱で

だはらさまり ▶ 病弱な <sup>う</sup>生まれ

だはらさる ‘とう ▶ <sup>ひと</sup>病弱な人

たばらりる ▶ いただきます

‘たぶす ▶ ぬかるみどころ / <sup>ところ</sup>どろんこの所。

たぶらび ▶ <sup>まち</sup>待ち遠しい

たまち ▶ <sup>たましい</sup>魂

たまち くーよーくーよー ▶ 魂よ。追いかけてきてよ <sup>お</sup>(おまじない)

たまちうとうしゃん ▶ ① <sup>おどろ</sup>驚いた。② たまげた。

たまちぬんぎ ▶ ① 驚いた。② たまげた。

たまな ▶ キャベツ

たまなとう ▶ キャベツと

たまなんでい ▶ キャベツと

たまにや ▶ たまには

たまんか ▶ <sup>たましろ</sup>玉城家 <sup>じんめい</sup>〈人名〉

たまな ▶ 玉那覇家 〈人名〉

‘たみ ▶ 教えて〜 〈連用形〉

‘たみ(ん)に ▶ 教えて [ね/よ] 〈頼み〉

だみとうんにきどうぶが、んさんさい ▶ 病弱そうだ  
けど健康な人

‘たみとうらい ▶ 教えてください [くれ]

たみにや ▶ ためには

‘たみり ▶ 教えろ

だや ▶ 洞窟

だやばがいしや ▶ 洞窟だけでは

だやや ▶ 洞窟は

だらーたてい ▶ やわらかく

だらん ▶ 柔らかい

‘たらんき ▶ 下に

たんかぬどわい/だい ▶ 満一歳の誕生日祝いに

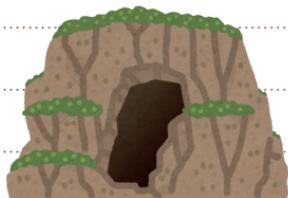
だんき ▶ 家に

だんき でい ▶ 帰ろう

だんきひり [目下に] ▶ 帰りなさい

だんきひりよ [目下に] ▶ 帰りなさいよ

たんきり ▶ 気をつけて



だんきわり [目上に] <sup>めうえ</sup> ▶ 帰りなさい

だんきわりよ [目上に] ▶ お帰りなさいよ / お帰り  
ください

たんでい ▶ ① よろしく。② よろしくお願ねがいします

たんでい どうーでいん ▶ よろしくお願ねがいします

～たんていん ▶ ～ても

～たんとうな ▶ ～そうだ

## ち

ちー ▶ ① 着きて。② 着てよ

ちーが <sup>いちにち</sup> ▶ 一日が

ちーとうらい ▶ 着てちょうだい

ちてい ▶ 着て <sup>れんようけい</sup> 〈連用形〉

ちにくら ▶ ふくらはぎ

ちま <sup>ちいき</sup> ▶ 地域

ちまくとうば ▶ しまくとうば

ちましゃん ▶ すませた

ちましんだぎ ▶ 終わろう

ちまふっか ▶ 島袋家 <sup>しまぶくろ け</sup> 〈人名〉

ちまむに ▶ しまくとうば

ちまむぬい▶しまくとうば

ちまや▶<sup>ち い き</sup>地域は

ちまるん▶<sup>お</sup>終わる

ちむ▶<sup>き</sup>気

ちむ んでいたや ていー ていきり ていー んでい  
 たや ちむ ていきり▶<sup>い じ</sup>意地<sup>て</sup>が出るなら<sup>て</sup>手<sup>ひ</sup>を引き。  
 手を出すなら意地は引きなさい〈ことわざ〉

ちむあびゃん▶心がやさしい

ちむが▶意地が

ちむすり▶①はればれとした。②<sup>まんぞく</sup>満足する

ちむだみ▶①<sup>こころ</sup>心が<sup>いた</sup>痛む／<sup>かわい</sup>かわいそう。②心が痛む／  
<sup>こうかい</sup>後悔する。

ちむとうぐとうなるん▶<sup>こころ</sup>心<sup>お</sup>落ち<sup>つ</sup>着く

ちむふぐん▶<sup>まんぞく</sup>満足する

ちむむいつありるん▶<sup>むなさわ</sup>胸騒ぎする

ちむりさん▶<sup>こころ</sup>心が<sup>いた</sup>痛む／<sup>かわい</sup>かわいそう。

ちや▶日は

ちゆ▶<sup>つゆ</sup>露

ちらかたちし▶<sup>かお</sup>顔つきで

ちらがまいし▶顔つきで

ちらかまでいし ▶ 顔つきで

ちらびてい ▶ 調べて 〈連用形〉

ちらびんだんぎ / ちらびる ▶ 調べてみよう 〈意志〉

ちる ▶ おしる [汁物]

ちるが ▶ おしる [汁物] が

ちるまがい ▶ 汁椀



つ

つあぬ ▶ 草くさの

つあぬは ▶ 草花くさばな

つあぬはし ▶ 草花で

つあり ▶ 申し上げもうあ 〈連用形〉

つありるん ▶ ①申し上げます。②申し上げる。

つだーり ▶ 真まっ白しろ

つだり ▶ 真まっ白しろ

つまぬ ▶ 昼ひるの

つん ▶ 着きます

て

てい ▶ 手て

でい ▶ さあ

‘ていき [縄や棒を引く／抜く／取り出す] ▶ 引け

でいくい ▶ デイゴ 〈植物〉

でいさくでい ▶ うつらうつら

ていぬばた ▶ 手のひら

～ていら ▶ ① 〈想像〉～だろう。② 〈本当のことだろうと捉える〉～なのだ。

ていんかい [手向かう] ▶ 謀反 [手向かう]

‘ていんかい [口応え] ▶ 謀反 [口応え]

ティンダハナタ ▶ ティンダバナ 〈地名〉

～でや ▶ ～だぞ

でやーでい ▶ 大変

でやーでいなくとう なん ▶ 大変になった

てよー [頂戴。寄こせ] ▶ ちょうだい／ください

と

～ど ▶ ～よ。／～さ。

～とう ▶ ～と 〈並べ、一緒にやる相手・なかま〉

どう ▶ ～こそく [～こそ] など、特に自立たせ強調したい言葉にくっつける)

～どう ▶ だぞ 〈文の一番おわりに言う〉

～どう あたる ▶ ～だった

～どう ある ▶ ～だ / ～である だんてい〈断定〉

～どう あるな? YesNoたずね文 / あるかや ▶ ～であるか

～どう ないぶる ▶ ～といひます

どうい ▶ ①取り / 取って れんようけい〈連用形〉。②撮り / 撮って と〈連用形〉。

どういぶん ▶ 取っている

どういんでい ▶ ①取りに。②撮りに

どうがぬち / どうがぬひ ▶ ① きゅうれき(旧暦の)5月4日。②は一  
りー(の日)。

‘どうがらぬ ▶ ① いちわ一羽の。② いっぴき一匹の。

どうぐ ▶ ぶつだん仏壇

どうぐとう きり ▶ お つ落ち着け

どうぐるに ▶ ところ所に

どうぐるにや ▶ 所には

どうぐるばぎん ▶ 所も

どうぐるん ▶ 所も

どうさんぬ だい / どわい ▶ じゅうさんいわ十三祝い

どうたん ▶ 取った

どうたんでい ▶ 取ったと

‘どうち ▶ ひと一つ

どうちきり ▶ とも友とせよ

どうちとう▶<sup>ともだち</sup>友達と

どうちぬ▶<sup>とし</sup>年の

‘どうちや▶一つは

どうっとう▶<sup>よ</sup>良い／<sup>よろしい</sup>よろしい。

‘どうっとうぐる▶<sup>いっ</sup>一か<sup>しょ</sup>所

どうっとうに▶<sup>きちん</sup>と／<sup>りっぱ</sup>立派に

どうっとうぬ ‘とう▶<sup>よい</sup>良い人／<sup>りっぱ</sup>立派な人

どうっとうぬ ‘とうや▶<sup>よい</sup>良い人は

どうっとうぬむぬ▶①<sup>いい</sup>もの。②<sup>じょうとう</sup>上等なもの。

どうっとうぬわしき▶<sup>よい</sup>良い<sup>てんき</sup>天気

とうでいち▶ソテツ〈<sup>しよくぶつ</sup>植物〉

とうでいちぬ▶ソテツの

とうでいとうらい[<sup>あづ</sup>譲ってください]▶<sup>ちようだい</sup>ちょうだい／<sup>ください</sup>ください。

とうでいまり▶<sup>おち</sup>落ち着け

どうどう▶<sup>ようじ</sup>用事

どうなんくとうば▶<sup>しまく</sup>しまくとうば

どうなんぱ／<sup>どう</sup>どうにんぱ／<sup>どう</sup>どうぬんぱ▶オオハマボウ〈<sup>しよくぶつ</sup>植物〉

どうなんむに▶<sup>しまく</sup>しまくとうば

とうばたん／<sup>とう</sup>とうばん▶<sup>い</sup>出会った

とうばるば▶<sup>い</sup>行きあえば▶

とぅばるん ▶ 行き会<sup>あ</sup>う / 出<sup>あ</sup>会<sup>い</sup>う。

とぅび / とぅびてい ▶ 飛<sup>と</sup>んで れんようけい〈連用形〉

とぅびひるんす ▶ 飛<sup>と</sup>んでいくのを

とぅぶん ▶ 飛<sup>と</sup>ぶ

とぅまい / とぅまいむら そない い がい [祖納以外の人<sup>が</sup>言う] ▶ 祖<sup>そ</sup>納<sup>ない</sup> ちめい〈地名〉

とぅみぶな ▶ 読<sup>よ</sup>んでいるか

とぅみぶん ▶ 読<sup>よ</sup>んでいる

とぅむていぬいが ▶ 朝<sup>あさ</sup>ごはんが

とぅむていぬいや ▶ 朝<sup>あさ</sup>ごはんは

とぅらい / とぅらしわり ▶ ください [くれ] / ちょうだい。

とぅらいば くじょう〈条件〉 / とぅらしがしや くじょう, きっかけ〈条件, きっかけ〉 / とぅ  
らたや くぜいき〈前置き〉 ▶ くれれば

とぅるん ▶ [写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>を] <sup>と</sup>撮<sup>と</sup>る

とぅんき すん ▶ お知<sup>し</sup>らせが来<sup>き</sup>た

とぅんきるん ▶ 伝<sup>つた</sup>える

とぅんでいたや / とぅんでいるんていあ<sup>あ</sup>た<sup>た</sup>や くぜいき〈前置き〉  
▶ 出<sup>で</sup>るなら

とぅんでいぶたん ▶ 出<sup>で</sup>ていた

とぅんでいぶん ▶ 出<sup>で</sup>ている

とぅんどうん ▶ 出<sup>で</sup>た

どわい▶祝いわい

とわん▶取とった

とわんでい▶取とったと

な

～な? <YesNoたずね文ぶん>▶ですか

な? \* YesNoたずね文ぶんの言おい終おわりにつく形かたち▶か  
[友とも達だちはいるか]

～な <名詞のあとにつける>▶～ずつ

なーどうないぶる▶名な前まえである

なーや▶名前は/名前や。

ない▶～なれんようけいって <連用形>

ないがら▶今いまから

ないてい▶ <連用形> +～なれんようけいって

ないぶさんでい▶なりたいいと

ないぶたん▶なっていた▶

ないぶる▶～です/～ごじこざたごしやうがいいます <自己・他己紹介ごじこ たごしやうがいのとき>

ないぶん▶なっている

ないぶんど▶なっているよ

ないんに [頂ちやうだい戴]▶ちやうだいい/ください。

ながどうぐい [中<sup>なか</sup>休<sup>やす</sup>み] ▶休<sup>し</sup>み時<sup>かん</sup>間

ながどうぐいぬ▶休<sup>し</sup>み時<sup>かん</sup>間の

ながどうぐいや▶休<sup>し</sup>み時<sup>かん</sup>間は

ながに／ながんき▶中<sup>ちゅう</sup>に

なだやしく [優<sup>やさ</sup>しく。人<sup>ひと</sup>] ▶優<sup>やさ</sup>しく

なたん▶な<sup>な</sup>った

なたんさい▶な<sup>な</sup>ったぞ、な<sup>な</sup>っただ<sup>き</sup>ろ [気<sup>き</sup>づか<sup>か</sup>せる]

なたんど▶な<sup>な</sup>ったよ

なていくい▶鳴<sup>な</sup>き声<sup>こゑ</sup>

ならい▶習<sup>しゅうかん</sup>慣<sup>なら</sup>／習<sup>なら</sup>い。

ならいてい▶習<sup>なら</sup>って〈連<sup>れん</sup>用<sup>よう</sup>形<sup>けい</sup>〉

ならいぶるかや▶習<sup>なら</sup>っているかな

ならいぶん▶習<sup>なら</sup>っている

ならいんでい▶習<sup>なら</sup>っている／習<sup>なら</sup>いに。

ならいんにんだぎ▶習<sup>なら</sup>ってみようよ

ならしとうらい▶教<sup>おし</sup>えてください [く<sup>く</sup>れ]

なるん▶習<sup>なら</sup>う

なん▶な<sup>な</sup>った

なんさい▶な<sup>な</sup>ったぞ、な<sup>な</sup>っただ<sup>き</sup>ろ [気<sup>き</sup>づか<sup>か</sup>せる]

なんど▶な<sup>な</sup>ったよ

に

に▶①で〈場所〉②～に(場所にかかる)③～に(受け身  
文の動作の主体)④～へ [場所にかかる]

にあいどうぶる▶似合っている

にき／にんき▶人気

にちんき▶北へ

にでいとう▶右と

～にや〈場所をあらわす名詞のあとにくっついて〉▶～には

にんきぬ▶人気の

にんとう▶年頭

にんとうぬ▶年頭の

ぬ

ぬ一きてい▶何して

ぬが▶何が

ぬていどうたがら▶命こそ宝〈ことわざ〉

～ぬ ‘とう▶～の人

ぬば▶何を

ぬや?〈疑問詞たずね文〉▶何か?

ぬるん ▶ <sup>なお</sup>直る

ぬんかまいん ▶ <sup>た</sup>食べ物<sup>もの</sup>が<sup>のど</sup>喉につかえるさま

ぬんき ▶ 何に

ぬんでい ▶ ① どうして。② なぜ。③ 何と

ぬんにぬ ▶ ① どんな～。② 何の

ぬんにぶたんか？ 〈疑問詞たすね文<sup>ぶん</sup>〉 ▶ どうだったか？

ぬんにや？ 〈疑問詞たすね文<sup>ぶん</sup>〉 ▶ どう？

## は

ばー ▶ <sup>わたし</sup>私の家<sup>いえ</sup>の / <sup>わが</sup>我が家<sup>や</sup>の

はーりー ▶ はーりー

はーりーぬ ▶ はーりーの

はーりーや ▶ はーりーは

はい ▶ ① <sup>た</sup>食べて～ 〈連用形<sup>れんようけい</sup>〉。② 食べろ。③ <sup>はい</sup>入って 〈連用形〉。

はいてい ▶ ① 食べて～ 〈連用形〉。② 入って 〈連用形〉

はいむぬが ▶ 食べ物が

はいむら ▶ <sup>ひ</sup>比川<sup>かわ</sup> 〈地名<sup>ちめい</sup>〉

はいゆー ▶ 食べてよ

はいり ▶ 入れ

はいんだぎ ▶ 食べよう

はいんでい▶食べに

はいんでやな▶食べてよ

はいんに▶食べてすす〈勧めている〉

はいんにだ(ん)ぎ▶食べてみよう

はいんにんに▶食べてみてた〈勧め〉

ばがいし▶だけで

ばがいしや▶だけでは

ばがびわか▶若く〜〈連用形れんようけい [特徴ならの並べ、原因げんいん、理由りゆうを表す]〉

はがまいり▶墓参りはかまい

はがまいりんき▶墓参りに

はがら▶きちんと

ばがわかん▶若い

はし▶葉はで

ばす▶芭蕉布ばしやうふ

ばすぬない▶バナナしよくぶつ〈植物〉

ばすや▶時ときは

ばた まいさる ‘とう▶お腹なか おおの大きい人ひと

ばた んていどうぶる▶お腹なかいっぱい

はたらんぎてい▶アリサンバライチゴ〈植物〉

はちからぬたん▶遭あわない／出てくわさない

はちかるん ▶ 出くわす

ばちみぬん ▶ 忘れ<sup>わす</sup>ちや<sup>す</sup>った / 忘れてしま<sup>す</sup>う

ばちるん ▶ 忘れる

ばちんな ▶ 忘れるな

ばちんなよ ▶ 忘れるなよ

ばつん ▶ 忘れた

はでいまるん ▶ 始<sup>はじ</sup>まります / 始まる。

はどうやぬ ▶ スズメ ちようるい〈鳥類〉の

はなあいがらや / はなあたや ▶ 花<sup>はな</sup>だ<sup>はな</sup>ったら まへ〈前置き・仮定〉

はなが ▶ 花が

はなしきてい ▶ ①話<sup>はな</sup>して<sup>はな</sup>〜 れんようけい〈連用形〉。②呼<sup>よ</sup>んで<sup>よ</sup>〜 れんようけい〈連用形〉

はなしきり ▶ ①話<sup>めいれいけい</sup>して たの かたち〈命令形・頼む形〉。②呼<sup>よ</sup>んで めいれいけい たの かたち〈命令形・頼む形〉

はなぬ ▶ 花の

はなぶる たがる ちまぬ ‘とうんた’ ▶ せいようじん西洋人

はに ▶ つばさ翼

はにんき ▶ 翼に

ばぬ ▶ 私たちの き て を ふく〈聞き手を含まない〉

はやぐ ▶ はや早く〜

はやたば ▶ 早<sup>はや</sup>かった<sup>はや</sup>ので

はやたん ▶ 早<sup>はや</sup>かった



ばやぬ ▶ 私<sup>わたし</sup>の家<sup>いえ</sup>の / 我<sup>わ</sup>が家<sup>や</sup>の

はり ▶ ①はーりー。②入<sup>はい</sup>って 〈命令〉

はりすぶ ▶ はーりー

はりすぶぬ ▶ はーりーの

はりすぶや ▶ はーりーは

ばんたぬ ▶ 私<sup>わたし</sup>たち<sup>たち</sup>の 〈聞<sup>き</sup>き手<sup>て</sup>を<sup>あ</sup>含<sup>く</sup>む〉



ひ

〜び ▶ 〜なので

ひー ▶ 行<sup>い</sup>って 〈連<sup>れん</sup>用<sup>よう</sup>形<sup>けい</sup>〉

ひーとうらい ▶ 行<sup>い</sup>って<sup>く</sup>れ 行<sup>い</sup>って<sup>ち</sup>ょう<sup>だ</sup>い

ひーとうらしわり ▶ ①行<sup>い</sup>って<sup>く</sup>だ<sup>さ</sup>い。②行<sup>い</sup>って<sup>ら</sup>っ<sup>し</sup>や<sup>い</sup>

ひーとうらしんに ▶ 行<sup>い</sup>って<sup>よ</sup>

ひがしや 〈条<sup>じょう</sup>件<sup>けん</sup>、き<sup>き</sup>っ<sup>か</sup>け〉 ▶ 行<sup>い</sup>け<sup>ば</sup>

びきりたん ▶ つけ<sup>ら</sup>れた

ひたや ▶ 行<sup>い</sup>く<sup>なら</sup> / 行<sup>い</sup>け<sup>ば</sup> 〈前<sup>ま</sup>置<sup>き</sup>、仮<sup>か</sup>定<sup>てい</sup>〉

びきてい ▶ 付<sup>つ</sup>けて

ひっきんでい ▶ 引<sup>ひ</sup>け<sup>と</sup>

ひっとうい ▶ 一<sup>いち</sup>日<sup>にち</sup>

ひてい [数<sup>すう</sup>字<sup>じ</sup>を<sup>を</sup>引<sup>ひ</sup>く] ▶ 引<sup>ひ</sup>け

ひない▶<sup>ひ</sup>比川<sup>ちめい</sup>〈地名〉

ひり▶①行け〈頼み〉。②行って〈頼み〉

ひりや▶行くと／行けば／行ったら〈条件〉

ひるな? 〈YesNo<sup>ぶん</sup>たすね文〉▶行くか／行こうか

ひるば▶行けば〈条件〉

ひるんすや▶行くのは

ひるんど▶①行くぞ〈意思〉。②帰りますね／帰る／帰りますよ。

ひるんな▶行きますか

ひんだぎ▶行きましょう／行こう／行こうぜ／行こうよ

ひんだんぎ▶①行きましょう。②帰ろう

ふ

ふいぶん▶<sup>ふ</sup>降っている

ふーていんきぬくい▶<sup>おおごえ</sup>大声

ぶーる▶<sup>ごうけい</sup>合計／<sup>ぜんぶ</sup>全部。

ぶーるし▶合計で／全部で。

ぶーるぬ▶みんなの

ふおー▶<sup>た</sup>食べよう

ふが▶<sup>い</sup>以外

ふがならい▶<sup>ほか</sup>外での<sup>なら</sup>習い

ふがに▶外に／別に。

ふがにや▶他には

ふがぬ▶他の

ふがら [目下めしたに対して] / ふがらさ。▶ありがとう

ふがらさんでい うむいぶるくとう▶ありがたくおも思うこと

ふがんき▶外ほかに、別べつに

～ぶさん▶～したい

ふでい▶筆ふで

ふでいあん古語▶似合にあう

ふとうんかん▶ふやかす

ふみらりたん▶ほめられた

ふみるん▶ほめる

ぶり▶群むれ／臣下しんかたち。

ふりふりぬとう▶ひょうきん者もの

ふるんたいぶん▶もの寂さびしく静しずまっている

ふん▶食たべる



べんきょー▶勉強べんきょう

ま

まいふなあがみ▶いい子

まがい▶茶わん

またら▶ツバメ〈鳥類〉

まち▶リュウキュウマツ〈植物〉

まちやる▶好む

まちやるむぬ▶好み／好きなもの

まちやるむぬや▶好むものは

まちり [神事など] ▶祭り／行事。

まちなむぬ▶お供え物

まちなぎ▶まつげ

まちなぎや▶まつげは

まていとわどうある／まていとわぬ。▶待ち遠しい

まどうんでい▶ [一緒に] 帰りましょう

まぶたんすや▶おいしそう／おいしそうだなあ。

まりかいてい▶たまに

まりし▶顔つきで

まりち▶誕生日

まりちま／まりでいま。▶故郷



まりちまぬ／まりでいまぬ。▶故郷ふるさとの

まる あていがい／まるんにぶる／まるんにぶんす  
や▶おいしそう／おいしそうだね。

まるむぬや▶おいしいものは

まんいえ▶おいしいねはな 話〈話し相手あいてに同意どういをもとめたり、話しかけ  
たりするときに使うつか〉

まんがいえ▶おいしいねはな 話〈話し相手あいてに同意どういをもとめたり、話しか  
けたりするときに使うつか〉

まんすや▶おいしいねかんじょう 感情〈感情だをまえいに出しながら言う言かたい方かた〉

## み

みーとうち▶新年しんねん／新玉あらたま。

みーとうちに▶新年に

みくきり▶気きをつけてちゅうい〈注意ちゅういしたりするときに使うつか〉

みぐとう▶見事みごと

みぐとうな▶見事な

みしやに▶おみせ店で

みしやんき▶お店へ

みっきがしやさが〈条件、きっかけ〉▶探せば～

みっきやん▶探した

みっきゃんが ▶ ~探したが

みっきりはい ▶ 探せば すす〈勤める言い方〉

みっきんだ(ん)ぎ ▶ 探してみよう

みっきんでい / みっきんでいひるん [探しに行く]。▶ 探しに

みっきんに ▶ 探して たの かたち〈頼みの形〉

みっとうんき / に ▶ ぬまち沼地に

みぬはでい ▶ ないかもしれない / ないだろう。

みぬまんぎ / みまゆ / みまんぎ ▶ まつげ

みぬまんぎや / みまゆや / みまんぎや ▶ まつげは

みまぶい / みまぶいきたん / みまぶいきゃん ▶ みまも見守った

みまぶいきぶたんでい ▶ 見守っていたと

みまぶいきぶる ▶ 見守っている

みまぶいきるん ▶ 見守る

## む

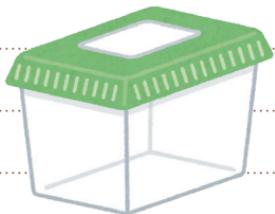
むーるぬ ▶ みんなの

むちいりるかぐ ▶ むし虫かご

むちいりるかぐぬ ▶ 虫かごの

むちかさんいえ ▶ むずか難しいね

むったいみぬん ▶ もったいない



むてい ▶ むーちー 〈もち〉

むていぶたば / むていぶたるゆんがら ▶ 持<sup>も</sup>っていたから

むていぶたん ▶ 持っていた

むていぶたんがら ▶ 持っていたから

むにし ▶ 言<sup>こと</sup>葉<sup>ば</sup>で

むにや ▶ 言葉は

〜むぬ ▶ 〜もの

むぬいし ▶ 言葉で

むぬいぬたてい ▶ ことわざ

むぬいぬたていや ▶ ことわざは

むぬいや ▶ 言葉は

むぬがた ▶ 物語

むぬならい ▶ 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>

むら ▶ 地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>

むら [祖<sup>そ</sup>納<sup>ない</sup>の<sup>ひと</sup>が<sup>い</sup>言う] ▶ 祖<sup>そ</sup>納<sup>ない</sup> 〈地<sup>ち</sup>名<sup>めい</sup>〉

むらや ▶ 地域は

むり ▶ 群<sup>む</sup>れ / 臣<sup>しん</sup>下<sup>か</sup>たち

や

～や\*疑問詞たずね文のいい終わりの名詞にくっつく形▶くや ぬや [これは何か]

やあ▶やあ〈声をかけるとき〉

やっ▶おっと〈感嘆〉

よ

よーじんきり▶気をつけて

り

りか▶理科

りかぬ▶理科の

わ

わいするんにさ▶いらっしゃった 〈「よくいらっしゃいましたね」など出迎える言葉〉

わいすん▶いらっしゃった/いらっしゃる/おいでになる 〈「いる/来る/行く」の敬語〉

わいすんにさ▶いらっしゃった 〈「よくいらっしゃいましたね」など出迎える言葉〉

わいとうらしわり▶行ってらっしゃい

わるかや▶ごめんください

(いし/き)わるな▶①お～になるか。②～されるか。  
③～なさるか。

わるなていねいで〈丁寧語〉▶ ①行きますか。②ごめんください  
い

(いし/き)わるん▶①お～になる。②～される。③  
～なさる。

～わるんれんようけい〈連用形〉+～なさる

ん

んかい▶おむかえ

んかちがらぬはなちが▶言い伝えが

んかちぬむかし▶昔の

んかちや▶昔は

んかちんとうぬ▶昔の人の

～んがら▶～だから/～なので。

んき▶①～に [場所にかかる]。②～に [受け身文の  
動作の主体]。③～へ [場所にかかる]

んきや▶には

んさ あらぬない ▶ 良いではないか

んさかや ▶ いいかな / いいかね。

んさたん ▶ 良かった

んさたんえ ▶ 良かったね

んさな? <YesNoたずね文> ▶ いいか? いいの?

んさる ‘とう ▶ 良い人

んさるむぬ ▶ いいもの / 上等なもの。

んさん ▶ 似合う / 良い / よろしい。

んさん どうとう ▶ いい / よろしい。

んさんでや ▶ いいのに <断り>

んさんどー ▶ いいよ / 大丈夫だよ <断り>。

んさんんさん ▶ いいよ

～んす <動詞・形容詞の連体形のあとにくっつける> ▶ ① [～する / ～した / ～するもの] こと。② [～する / ～した / ～するもの] の。③ [～する / ～した / ～するもの] もの。

～んた ▶ ～など

んだいぬ ▶ 左の

～んだぎ \*あみ ふいんだぎ <雨が降りそうだ> <無意志動詞・自然の動きをあらわす動詞の連用形につなげて様態を表す> ▶ ～

そうだ

～んだぎ 〈意志動詞の連用形につなげて〉 ▶～しよう

んだむん ▶刻む

んだらん ▶かわいい

んだらんすや ▶かわいいね

んだりぶたん ▶呼ばれていた／言われていた。

んだんでいあや 〈前置き〉 ▶出すなら

～んでい ▶①～そうだ。②～と 〈引用〉。

んでい ▶比川 〈地名〉

んでいたや 〈前置き・仮定〉 ▶出るなら

～んでいつありるん ▶～と申します

んでいむらんき ▶比川に

んでいるんでいあや 〈前置き〉 ▶出るなら

んでいんにんに ▶言っごらん

～んでや ▶～のに 〈反対・うらめ・くらべの接続詞。つなぎ言葉〉

～んどう [～です：同等] ▶～といたします

んどうかや ▶いかな

んどうむぬや／んどうんすや ▶いうのは

んなにぬん ▶見えない

んなぬん ▶見ない

んなり ▶見えて 〈連用形〉

んなりるが▶見えるが

んなりるむぬが▶見えてくるものが

ん(に)たな▶見たか

～んにどう ぶる▶ようだ(まるで～ようだ)たとえ

んにどう ぶんがら▶<sup>にあ</sup>似合っているから

んにやな▶見たか

んにわいに▶ごらん/ご覧<sup>らん</sup>ください/ご確認<sup>かくにん</sup>ください。

んにんでい〈目的〉▶<sup>み</sup>見に

んぬ/んぬ<sup>きのう</sup>▶昨日の

んぬんど▶見るよ/ぞ

んばらーんばら▶たまに

んぶい/んぶいてい▶つぼんで<sup>れんようばい</sup>〈連用形〉

んぶち<sup>ひざ</sup>▶膝

んぶまるん▶<sup>つぼ</sup>窄む

んまんき(ひるんが?)〈疑問詞たずね文<sup>ぶん</sup>〉▶どこに(行く  
の?)

んみ(ぶんが?)〈疑問詞たずね文<sup>ぶん</sup>〉▶どこに(いるか?)



**共通語**  
こじゅうおんび  
**五十音引き**

# 共通語

## こ じゅうおん び 五十音引き もくじ

あ ..... p.68

い ..... p.70

う ..... p.74

え ..... p.75

お ..... p.75

か ..... p.78

き ..... p.80

く ..... p.82

け ..... p.83

こ ..... p.83

さ ..... p.86

し ..... p.87

す ..... p.90

せ ..... p.90

そ ..... p.91

た ..... p.92

ち ..... p.94

つ ..... p.95

て ..... p.96

と ..... p.98

な ..... p.99

に ..... p.101



ぬ ..... p.102

の ..... p.102

は ..... p.102

ひ ..... p.104

ふ ..... p.105

へ ..... p.105

ほ ..... p.106

ま ..... p.106

み ..... p.107

む ..... p.108

め ..... p.108

も ..... p.108

や ..... p.109

ゆ ..... p.110

よ ..... p.110

ら ..... p.111

り ..... p.111

れ ..... p.112

わ ..... p.112

あとがき ..... p.114

あ

ああ ▶ いー (しまった!)

あいさつ ▶ あいさてい

合う ▶ あう / あたるん

アオドウガネ <昆虫> ▶ あんしやみ

アカギ <sup>しよくぶつ</sup><植物> ▶ あがんき

<sup>あさ</sup>朝ごはんが ▶ どうむていぬいが

朝ごはんは ▶ どうむていぬいや

<sup>あじ</sup>按司 ▶ あてい

按司が ▶ あていが

<sup>あした</sup>明日ね ▶ あったいえー

あそこ ▶ かま

あそこの ▶ かまぬ

<sup>あそ</sup>遊び ▶ あんび

遊びが ▶ あんびが

遊びに ▶ あんびんでい

<sup>ば</sup>遊び場 ▶ あんぶどうぐる

遊び場も ▶ あんぶどうぐるばぎん

遊ぶか ▶ あんぶな / あんぶない。 <YesNoたずね文の言い方>

遊んでいい▶あんびんさん

あそ  
遊べる▶あんばりるん

遊んでいいよ▶あんびんさんど

遊べるぞ▶あんばりるんど

遊ぼう／遊ぼうぜ／遊ぼうよ▶あんびんだぎ(いえー)  
／あんぼ。

遊んだ▶あんびたん／あんびゃん

遊んでいる▶あんびぶん

あって(—ということがあって)▶あいてい

あ  
合っていた▶あたいぶたん

合っていたので▶あたいぶたば

合っている▶あたいぶん

へん  
あの辺／あちら▶かぬかた

あまわり  
阿麻和利▶あまわり

阿麻和利と▶あまわりとう／あまわりんてい。

アメリカ人▶あめりかー／あめりかんとう。

あらたま／しんねん  
新玉／新年▶いーとうち／みーとうち。

ありがたく思うこと▶ふがらさんてい うむいぶるくとう

ありがとう▶ふがら(目下めしたに対して)／ふがらさ。

ありがとうございました▶しかーとう ふがらさ

アリスンバライチゴ〈植物〉▶はたらんぎてい

あるよ▶あんど

ある▶あん

あるかな▶あるかや

あるだろう▶あるはでい〈かんがえやまうぞうをつたえるいひかた〉

あれや▶かりや／かりやい。

あれやこれや▶いるまかるま／うんかりん／くんかりん。

遭わない／出くわさない▶はちからぬたん



いい／よろしい▶んさん／どうっとう。

いいか？いいの？▶んさな？〈YesNoたずね文〉

いいかな／いいかね▶んさかや

いい子▶まいふなあがみ

いいよ▶んさんどー／んさんんさん。

言い伝えが▶んかちがらぬはなちが

良い天気▶いーわしき／どうっとうぬわしき。

いいよ／大丈夫だよ(断り)▶んさんどー

いいのに(断り)▶んさんでや

良い人▶いー ‘とう／どうっとうぬ ‘とう／んさる ‘とう。

良い人は▶**どう**とうぬどうや／んさるとうや

～といます▶**～どう** ないぶる／～んどう (～です:同等)。

～と申します▶**～んで**いつありるん

いかな▶**ん**どうかや

いうのは▶**ん**どうむぬや／んどうんすや。

家での習いが▶**だー**ならいが

家に▶**だー**に〈ありか〉／**だん**き〈行く先〉。

家屋敷や▶**だー**だしきや

以外▶**ふ**が

行き会<sup>あ</sup>う／出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>う▶**と**うばるん

行きあえば▶**と**うばるば

行きましょう▶**ひ**んだぎ／ひんだんぎ。

行きますか▶**ひ**るんな?／わるな? (丁寧語)。〈YesNoたずね文〉

生き物(動物。昆虫)の▶**い**ちむち

行くか／行こうか▶**ひ**るな? 〈YesNoたずね文〉

行くぞ(意思)▶**ひ**るんど

行くのは▶**ひ**るんすや

行くと／行けば／行ったら〈条件、きっかけ〉▶**ひ**りや

行くなら／行けば〈条件、前置き・仮定〉▶**ひ**たや

行けば〈条件〉▶**ひ**がしや／ひるば。

行こう／行こうぜ／行こうよ▶ひんだぎ

意地が▶いでいんが／ちむが。

意地が出るなら手を引き 手を出すなら意地は引き  
なさい〈ことわざ〉▶ちむ んでいたや ていー てい  
きり ていー んでいたば ちむ ていきり

石積み▶グシク

急いで(命令)▶あばていり

急いで▶したた／たいぐ。

急いでいる▶あばていどうぶる

急いでいるときは ゆっくり(落ち着け)〈ことわざ〉▶  
あばていぶるばすや どうりーどうり(とうぐとう  
い。だらな)

忙しい▶いすがさどうある／いすがさぬ／いすがさん。

いただきます▶たばらりる

一日▶ひっとうい

一日が▶ちーが

一羽の／一匹の▶‘とうがらぬ

一か所▶‘とうっとうぐる

一か所ずつ▶‘とうっとうぐるな

行って(連用形)▶ひー

行って／行け(頼<sup>たの</sup>み)▶ひり。

行ってください▶いていていわり／ひーとうらしわり。

行ってくれ▶ひーとうらい

言ってごらん▶んでいんにんに

行ってよ▶ひーとうらしんに

行ってらっしゃい▶いていていわり／ひーとうらし  
わり／わいとうらしわり。

行ってらっしゃいよ▶いていていわりよ

いつまでも▶いちばぎん

イトバショウしょくぶつ〈植物〉▶いとうばす

命いのちこそ宝たから〈ことわざ〉▶ぬていどうたがら▶

位牌いはい▶がんとす

今いまから▶ないがら

いらっしやった〈「よくいらっしやいました」など出迎える言葉でむかえ〉  
▶わいするんにさ／わいすんにさ。

いらっしやった／いらっしやる／おいでになる〈いる  
／来る／行く〉の敬語けいご▶わいすん

入れい▶はいり

入れたいな▶いりぶさん

入れようか▶いりるかや／いりるな。

いろいろな▶いろいろ／かていかでい。

いろいろ  
色々なもの▶いろいろなもの／いるんなもの。

いわ  
祝い▶どわい／だい

イワサキクサゼミ▶うるむさんさんてい／じーじー。

う

うーとーとー▶うすとぅい

(売って)ください▶ういとうらい／ういとうらしわり。

うつらうつら▶でいさくでい

うらぶだけ  
宇良部岳▶うらぶだぎ

宇良部岳は▶うらぶだぎや

宇良部岳は見えるが。自分のまつ毛は見えない<こと  
わざ>▶うらぶだぎや んなりるが どうぬみぬま  
ぎや んなにぬん

う 売れ「売れ／売って(頼み)」の形▶ういんに

うれしいね▶しゃなんすや

うれしそうだね▶しゃなきぶるんにぶる／しゃなき  
ぶんすや。

## え

選ぶえらかな ▶ いらぶかや

選ぶえらさ ▶ いらぶんでや

選ぶえらだろ / でしょ ▶ いらぶんさい 〈気づかせる言い方〉

## お

お…になる / …なさる / …される ▶ (いし / き) わるん

お…になるか / …なさるか / …されるか ▶ (いし / き) わるな

追おいかけて～(連用形)れんようけい ▶ ういかぎ / ういかぎてい。

追おいかける ▶ ういかぎるん

おいしいね はな あいて どうい だ 〈話し相手に同意をもとめたり、話しかけたりするときに使つかう〉 ▶ まんいえ / まんがいえー。

おいしいね かんじょう だ 〈感情をまえに出しながら言う言い方〉 ▶ まんすや

おいしいものは ▶ まるむぬや

おいしそう / おいしそうだなあ ▶ まぶたんすや

おいしそう ▶ まる あていがい / まるんにぶる。

おいしそうだね ▶ まるんにぶんすや / まる あていがい / まるんにぶる。

大声(おおごえ) ▶ うぶくい / ふーていんきぬくい。

大声で呼ぶ／叫ぶ ▶ うぶくいしあびるん／かがたるん。

オオハマボウ しよく 菜の 〈植物〉 ▶ どうなんぱ／どうにんぱ／どう  
ぬんぱ。

お母さん以外誰も見ない ▶ あぶたふがに たーん  
んなぬん

お母さんも ▶ あぶたばぎん／あぶたん。

おかず ▶ かていむぬ

起きなさい ▶ うぎり

沖縄／沖縄島 ▶ うんな／うんなぬちま。

遅れる ▶ うぐりるん

起こした ▶ うぐしゃん

起こしたと ▶ うぐしゃんでい

起こしてね ▶ うぐしとうらいよ／うぐしとうらしん  
に／うぐしんに。

起こしてくれれば ▶ うぐしがしや／うぐしとうらた  
や／うぐしとうらば。

起こす ▶ うぐん

行う／やる ▶ いるん

行っていた ▶ いしぶたん

おじいさんと ▶ あさとう／あさんでい。

おじいさんに ▶ あさんき

おじいさんは▶あさや

「おし教えて(ね/よ)たの頼み」▶‘たみ(ん)に

教えて～(連用形)▶‘たみ

教えてください(くれ)▶‘たみとうらい/ならしとうらい。

教えろ▶‘たみり

しお知らせが来た▶とうんき すん

しるものおしる〈汗物〉▶ちる

しるものおしる〈汗物〉が▶ちるが

そなお供え物▶まちるむぬ

落ち着け▶とうぐとう きり/とうでいまり

おっと(感嘆)かんたん▶やっ

とうお父さんも▶いやばぎん/いやん。

落とした▶うとうしゃん

落とす▶うとうん

なかお腹いっぱい▶ばた んていどうぶる

おおお腹の大きい人▶ばた まいさる ‘とう

おばあさんから▶あぶがら

ぼんお盆▶する

お盆の▶するぬ

みお見送り/精霊送しょうりょうり▶するうぐい

お店で<sup>みせ</sup>▶みしやに

お店へ▶みしやんき

おむかえ▶んかい

おもしろかった▶うむつつあたん

おもしろかったね▶うむつつあたんいえ

おもしろがる▶うむつつあきるん

終わる<sup>お</sup>▶ちまるん

終わろう<sup>お</sup>▶しまいんだぎ／ちましんだぎ。

## か

～か？(誰<sup>だれ</sup>が来る<sup>く</sup>か)〈疑問詞たずね文の言い終わりの動詞・形容  
詞にくつつ<sup>かたち</sup>形〉▶～が？

か(これは何か)▶～や？(くやぬや？)〈疑問詞たずね文の  
いい<sup>お</sup>終わりの名詞にくつつ<sup>かたち</sup>形〉

か(友達<sup>とも</sup>はいるか)▶～な〈YesNoたずね文の言い終わりにくつ  
つ<sup>かたち</sup>形。(どうちや ぶな？)〉

が／けれども(～だが)▶～(どう)あんが

書いてある<sup>か</sup>▶かていあん／かてやん。

買い物(買う物)<sup>か</sup>▶くーむぬ

飼う<sup>か</sup>▶‘かぬん

買うか▶くな？

かえ  
帰って▶かいしてい

帰ってから▶かいしていから

帰ってきてから▶かいししていから

帰りなさい▶①だんきひり(目下に)。②だんきわり  
(目上に)

帰りなさいよ／お帰りください▶だんきわりよ(目上  
に)

帰りなさいよ▶だんきひりよ(目下に)

(一緒に)帰りましょう▶まどうんでい

帰りますね▶ひるんど

帰ろう▶だんき でい／ひんだんぎ。

かお  
顔つきで▶ちらかたちし／ちらがまいし／ちらかまてい  
し／まりし。

かかと▶あどうびら

か  
書かれてある▶かがりあん

かぎやで風ふう〈歌〉→▶ぐでいんぶ

書くと▶かぎや／かぐば／かていがしや／かていたや

かざ  
飾って(かざって)(連用形)▶かだい／かだいてい。

飾る▶かだるん

ガジュマル しょくぶつ〈植物〉 ▶ さがいき

かず  
数 ▶ かでい

がっこう  
学校 ▶ がっく

学校へ ▶ がっくんき

か  
買って 〈連用形〉 ▶ かいてい

買ってきてくれ ▶ かい しどうらい

～かな ▶ ～かや

かばん ▶ かばん

カマキリ ▶ いさとうまい

かわいい ▶ んだらん

かわいいね ▶ んだらんすや

カワセミ ちようるい (鳥類) ▶ いるはどうやんき

考えている ▶ かんがいどうぶる / かんがいぶん。

考えているが ▶ かんがいぶが はんたい〈反対、うらめに出たことを言う〉

考える ▶ かんがいるん

がんば 頑張って 〈「命令、励まし」の意を表す〉 ▶ ぎはり

頑張って \* 励ます、おうえん 応援する い 言い方 ▶ いでいんでいり

き

き  
気 ▶ ちむ

機嫌きげんが直るなお ▶ きがい ぬるん

北きたへ ▶ にちんき

刻きざむ ▶ んだむん

きちんと / 立派りっぱに ▶ どうっとうに

きちんと ▶ しかっとう / はがら。

来て、～ ▶ しー / してい。

来て (呼ぶ時よぶとき) ▶ しんに

着きて (連用形れんようけい) ▶ ちてい

着て ▶ ちー

来てちょうだいよ ▶ しーとうらい / しーとうらしんに。

着てちょうだい ▶ ちーとうらい

来てよ ▶ くばはい (すすめる言い方)

着てよ ▶ ちー

昨日きのうの ▶ んぬ / んぬぬ。

来ます ▶ くん

着ます ▶ つん

来るよ / 来ますよ ▶ くんど

来ますね ▶ くんいえー

来ますからね ▶ くんがらよ

キャベツ ▶ たまな

キャベツと▶たまなとう／たまなんでい。

きゅうしょく  
給食▶きゅうしょく

給食に▶きゅうしょくに／きゅうしょくんでい。

給食は▶きゅうしょくや

きょう  
今日から▶すがら

今日の▶すぬ／す。

今日は▶すーや

今日も▶すん

きれいだな▶あびゃんすや

きれいだね▶あびゃんいえー。

きれいだ／美しい▶あびゃん

きれいな着物▶あびやる んなに

きれいな花▶あびやる はな

気をつけて〈ちゅうい注意したりするときに使う〉▶みくきり

気をつけて▶たんきり／よーじんきり。

きんじょう  
金城▶かなんか

く

くうふく  
空腹である▶だーさどうある

くさ  
草の▶つあぬ

くさばな  
草花 ▶ つあぬは

草花で ▶ つあぬはし

ください ▶ とうらしわり

ください(くれ) ▶ とうらい

くぶら  
久部良の ▶ いりびぬ / くぶらぬ / いりでい → いりび  
(西の土地)。

クマゼミ 〈昆虫〉 ▶ さんさん

くれれば ▶ とうらいば / とうらしがしや / とうらたや。

け

ゲットウ 〈植物〉 ▶ さんにな

こ

ご案内 / ご招待 ▶ ‘かいり

ご案内する / ご招待する ▶ ‘かいるん

ご案内しましょう ▶ ‘かいらり わり

公園 ▶ こーえん

公園に 行く ▶ こーえんき ひるん

公園に いる ▶ こーえんに ぶん

ごうけい ぜんぶ  
合計 / 全部 ▶ ぶーる

合計で／全部で▶ぶーるし

きゅうれき (旧暦の) がつ 5月 か 4日 ▶どうがぬち とうがぬち／どうがぬひ とうがぬひ。

こくおう 国王 ▶うすながなち うすながなち

国王が ▶うすながなちが うすながなちが

ここには ▶うまにや うまにや／くまにや くまにや。

ここは ▶うまや うまや／くまや くまや。

こころ 心 お 落ち つ 着く ▶ちむとうぐとうなるん ちむとうぐとうなるん

こころ 心が いた 痛む／かわいそう かわいそう ▶ちむだみ ちむだみ／ちむりさん ちむりさん。

こころ 心が いた 痛む／こうかい 後悔する ▶いなむぬきるん いなむぬきるん／ちむだみ ちむだみ。

心がやさしい ▶くぐるんさん くぐるんさん／ちむあびゃん ちむあびゃん。

心から ▶くぐるがら くぐるがら

(心から)いとおいしい ▶(ちむがら ちむがら)うぐしどうぶる／  
(ちむがら ちむがら)うむいぶん。

せん 祖先 ぞ 様 ▶うやはぶでい うやはぶでい／うやはぶでい うやはぶでい。

ご先祖様に ▶うやはぶでいんき うやはぶでいんき／うやはぶでいんき うやはぶでいんき。

(～こそ)など、特に目立たせ強調したい言葉にくっ  
つける ▶どう どう

ごちそう／ぶつだん 仏壇から さ 下げたごちそう ▶さんだい さんだい

～こと ▶～くとう ～くとう

ことし 今年も ▶くとうちばぎん くとうちばぎん／くとうちん くとうちん。

言葉ことばで▶くとうばし／むにし／むぬいし。

言葉は▶くとうばや／むにや／むぬいや。

子どもこどもが▶あがみが

子どもたち▶あがみんた

子どもたちに▶あがみ(てい)んたんき

ことわざ▶うやぬならし／うやんたぬならし／むぬいぬたてい。

ことわざは▶うやぬならしや／うやんたぬならしや／むぬいぬたてい。

この辺へん／こちら▶うまとうまる

好みこの▶まぢやるむぬ

好む▶まぢやる

好むものは▶まぢやるむぬや

ご飯はんつぶ▶いぬちん

ゴム段だんとび▶ごむとび

ゴム段とびで▶ごむとびし

ごめんください▶あいわるかや／わるな。

こよういし〈意志〉▶くー

こようかんゆう〈勧誘〉▶しんだんぎ

こようか／きましょうか▶くーな？

ごらん／ご覧らんください／ご確認かくにんしてみてください▶  
んにわいに

これは▶うや／くや。

これら▶くんた

昆布こんぶ▶くぶ／くぶぬはに。

さ

さあ▶でい

最中さいちゆう▶さなが

探さがした▶みっきやん

探したが～▶みっきやんがが〈反対、うらめに出たことを言う〉

探してたの(頼かたみの形)▶みっきんに

探してみよう▶みっきんぬん

探しに▶みっきんでい／みっきんでいひるん(探しに行く)。

探せば▶みっきがしや〈条件、きっかけ〉

探せばすす(勧める言い方)▶みっきりはい

先ほどさき▶きさ／きつつあ。

先ほどから▶きさがら／きつつあがら。

下げよう／下げようよ▶さぎ(ん)だぎ

寂さびしい▶さびつつあん

された▶いらりたん／いらりゃん／きりりたん／きりりゃん。

算数さんすう▶さんすー

算数の▶さんすぬ

し

し／して〈「する」の連用形れんようけい〉▶き

飼育しいくしている▶‘かないぶん

しかし▶いるが(どう)

した▶きゃん

～した▶～きゃん

(～し)たい▶～(き)ぶさん〈動詞どうしの連用形れんようけいのあとに言いって〉

～したい▶～ぶさん

～したいから▶～き(いし)ぶさび／～き(いし)ぶさ  
んがら

したよ▶いしやんど／きゃんど。

下したに▶‘たらんき

して▶～いしてい／～きてい。

していた▶いしぶたん／きぶたん。

している▶いしぶん／きーぶん。

～しているもの▶～いしぶるむぬ／～きぶるむぬ。

してから▶いしていがら／きていがら。

～してください〈動詞の連用形あとの後に言って、たの頼み・いらい依頼を表す

ていねい丁寧な言い方。おもにめうえ目上の人に使う〉▶～いしとうらしわり

～してくれ〈動詞の連用形あとの後に言って、たの頼み・いらい依頼を表す〉▶～

いしとうらい

～してごらん▶いしわいに

しなさい▶いり／きり。

しなさいね▶いしとうらいよ／いりよ／きりよ。

しなさいよ▶きりよ／きりんでやな(怒っている印  
しょう象。より強つよく命令めいれいしているニュアンス)。

しに▶いしんでい／きんでい。

しまくとうば▶ちまむぬい／ちまくとうば／ちまむ  
に／どうなんくとうば／どうなんむに。

しますか？(YesNoたずね文)▶いしわるな／いるん  
な／きるんな。

しま島にんじん▶きんだぐに

しまぶくろ島袋家▶ちまふっか

しゃかい社会(世間)▶しきん

しゃしんかん写真館▶さしんうつ どうぐる／さしんとうる どうぐる。

写真館へ▶さしんうつ どうぐるんき／さしんとう  
る どうぐるんき。

写真を撮りに▶さしん うつしんでい/さしん とう  
いんでい。

十三祝じゅうさんいね▶どうさんぬ だい/どわい

授業▶じゅぎょー

宿題▶しくだい/しゅくだい/すくだい。

宿題は▶しくだいや/しゅくだいや/すくだいや。

首里城しゅりじょう/首里城正殿せいでん▶しゅりじょー

しよう▶いしんだぎ/きんだぎ/～んだぎ〈意志動詞の  
連用形れんようけいにつなげて〉。

小学校しょうがっこう▶しょうがっく

小学校の▶しょうがっくぬ

しようかな▶きるかや

上等じょうとうなもの/いいもの▶どうっとうぬむぬ/んさるむぬ。

しようね▶いしんだぎいえ/きんだぎいえ。

しようよ▶いしんだぎいえ/きんだぎいえ

将来しょうらい▶さていさてい

将来は▶さていさていや

調べしらべて〈連用形〉▶ちらびてい

調べてみよう〈意志いし〉▶ちらびんだんぎ/ちらびる。

汁じゅう椀わん▶ちるまがい

しんちよう  
身長▶たぎ

しんちよう たか  
身長の高い人▶たぎある ‘とう/たぎたがる ‘とう。

しんねん  
新年に▶みーとうちに

す

す  
好きなもの▶まぢやるむぬ

ちようるい  
スズメ(鳥類)の▶はどうやぬ

ずつ▶～なー

ステーキ▶すてーき

ステーキが▶すてーきが

すませた▶ちましゃん

すみ  
炭▶すみ

炭と▶すみとう

する▶きるん

～するために▶～いるんでい/～きるんでい。

せ

せいめいさい  
清明祭▶しみ

せいようじん  
西洋人▶はなぶる たがる ちまぬ ‘とうんた

セミ▶さんさん

せんせい  
先生に▶しんしんき

そ

そうか?▶いしな

そうなの?▶いしない

そうそう▶いしいし

そうだねえ▶いしえー

…そうだどう〈動・形 容 詞の連体形れんたいけいのあとに付け加えて、伝え聞いたことつたえきとや考えていることかんがを表す〉▶あていがい

…そうだ▶～んだぎむいし〈無意志動詞・自然しぜんの動きをあらわす動詞の連用形れんようけいにつなげて〉例：あみ ふいんだぎ(雨が降りそ  
うだ)

そうだったら▶うんにあたやまえお〈前置き・仮定かてい〉

そうであるならば▶うんにどうあたやまえお〈前置き・仮定〉

そして/それで▶いたば/うにてい

ソテツしよくぶつ〈植物〉▶とうでいち

ソテツの▶とうでいちぬ

そとそとでのなら習い▶ふがならい

外に▶ふがに/ふがんき。

そなそない▶とうまい/とうまいむら(祖納以外そなの人が言う)

／むら(祖納の人が言う)。

そ染めて(連用形)▶すみ／すみてい。

めいれいけい染めて(命令形)▶すみり

染める▶すみるん

それでは▶いた

それは▶うや

そろ揃って(連用形)▶するい

そろばん▶するばん

そんな／そのような時とき▶うんにぬばすにや

た

～だ／～である(断定)だんてい▶～どう ある

たいせつ大切▶あたらん

大切な▶あたらる

大切に▶あたらき

たいへん大変▶でやーでい

大変なった▶でやーでいなくとう なたん

たから宝▶たがら

だけで▶ばがいし／だぎし。

だけでは▶ばがいしや／だぎしや。

出すなら▶**んだんでいあや** まえお かてい〈前置き・仮定〉

だぞ いちばん〈文の一番おわりに言う〉▶**〜どう**

〜だぞ▶**〜でや**

〜だった▶**〜あたん／〜どう** あたる。

〜だったか？〜あとな▶ YesNoたずね文

〜だったら▶**〜あや** まえお かてい〈前置き・仮定〉

立たって(命めい令れい)▶**たてい**

例たとえば▶**たとういるば／たとういるん。**

たぶん…だろ▶**うんに…はでい**

食すすべて(勧すすめている)▶**はいんに**

食すすべて～(連用形)▶**はい／はいてい。**

食すすべてみて(勧すすめ)▶**はいんにんに**

食すすべてみよう▶**はいんだ(ん)ぎ／はいんにだ(ん)ぎ。**

食すすべてよ▶**はいゆー／はいんでやなー**

食すすべに▶**はいんでい**

食すすべ物ものが▶**はいむぬが°**

食すすべ物ものが喉のどにつかえるさま▶**ぬんかまいん**

食すすべよう▶**はいんだぎ／ふおー。**

食すすべろ▶**はい**

食すすべる▶**ふん**

たまげた／<sup>おどろ</sup>驚いた▶うどうるていみぬん／うどうるてや  
ん／たまちうとうしゃん／たまちぬんぎ。

たまご▶かいぐ

<sup>たましい</sup>魂▶たまち

魂よ。追いかけてきてよ〈おまじない〉▶たまち くーよー  
くーよー

<sup>たまきけ</sup>玉城家▶たまんか

<sup>たまひ</sup>玉那覇家▶たまんな

たまに▶まりかいてい／んばらーんばら。

たまには▶たまにや

ためには▶たみにや

〈<sup>そうぞう</sup>想像〉～だろう、〈本当のことだろうと捉える〉～なのだ▶～ていら

<sup>たんき</sup>短気な人▶きー まらる ‘とう／くんどうぐら。

<sup>たんじょうび</sup>誕生日▶まりち

## ち

<sup>ちいき</sup>地域▶ちま／むら

地域は▶ちまや／むらや。

<sup>ちか</sup>近く▶‘たーぐ

近くには▶‘たーぐに(や)

茶わん ▶ いーまがい (ごはん茶碗)

注文 ▶ あちらい

注文しようかなと ▶ あちらいきるかや

ちょうだい ▶ とうらい

ちょうだい / ください ▶ てよー (頂戴。寄せ) / どう  
でいとうらい (譲ってください) / ないんに (頂戴)。



使え (命令) ▶ ‘かい

使って ▶ ‘かい / ‘かいてい (連用形)

使っている ▶ ‘かいぶん

使っているか ▶ ‘かいぶな? (YesNo たずね文) ‘かいぶ  
んか? (疑問詞 たずね文)

使ってみよう ▶ ‘かいんにんだぎ

作った ▶ ‘くわん

作って ~ / 作り ~ (連用形) ▶ ‘くい / ‘くいてい。

作って / 作れ (頼み) ▶ ‘くり

作ってある ▶ ‘くわん / ‘くいあん。

作ってあるから ▶ ‘くわんがら / ‘くいあるゆんがら。

作ってみよう ▶ ‘くいんにんだぎ

作ろう／作ろうよ ▶ ‘くいんだぎ’

付けて ▶ びっきてい

つけられた ▶ びきりりたん

伝える ▶ とうんきるん

つばさ  
翼 ▶ はに

翼に ▶ はにんき

ツバメ ▶ またら

つぼむ ▶ んぶまるん ▶

つぼんで れんようけい 〈連用形〉 ▶ んぶい／んぶいてい。

つゆ  
露 ▶ ちゆ

つ  
連れてて～ れんようけい 〈連用形〉 ▶ すい／すいてい。

連れる ▶ するん

て

て  
手 ▶ てい

で しゅだん (手段) ▶ し

で ばしょ (場所) ▶ に ▶

てあ  
出会った ▶ とうばたん／とうばん。

～であるか ▶ ～どう あるな？ ぎもんごたすねぶん 〈疑問詞たすね文〉 / あるかや

デイゴ しよくぶつ 〈植物〉 ▶ ていく°い

ティンダバナ▶ティンダハナタ

出くわす▶はちかるん

～です／～ご<sup>じこ</sup>ざ<sup>た</sup>います(自己・他己紹介のとき)▶ないぶる

ですか▶～な? (疑問詞たずね文)

です<sup>ね</sup>▶いえ／がえー。

出た▶とうんどうん

出ていた▶とうんでいぶたん

出ている▶とうんでいぶん

手のひら▶ていぬばた

…ではない(名詞を言い終わりに使う文の否定形)▶

…あらぬん

～ではないか(動詞の連用形や名詞のあとに言って、  
疑いながら考<sup>うたが</sup>えていること<sup>かんが</sup>を伝える言<sup>つた</sup>い方<sup>い</sup>)▶～

あらぬかや

～だけど／～のに▶～あが

でも／しかし▶～あが／いるが。

～ても▶～たんていん

出るなら▶とうんでいたや／とうんでいるん<sup>て</sup>いあ<sup>た</sup>や  
／ん<sup>て</sup>いたや／ん<sup>て</sup>い<sup>る</sup>ん<sup>て</sup>いあ<sup>た</sup>や。〈前置き・仮定〉

と

～と(ならべ・一緒にやる相手・なかま)▶～とう

～と(引用)▶～んでい

(…する)と/(…し)たら▶きがしや〈条件、きっかけ〉/  
きりや〈原因、理由、きっかけ〉/きたや〈前置き・仮定〉。

どう?▶ぬんにや〈疑問詞たすね文〉

洞窟▶あぶ/がま/だや。

洞窟だけでは▶だやばがいしや

洞窟は▶だやや

どうだったか▶ぬんにぶたんが?〈疑問詞たすね文〉

時は▶ばすや

どこに(行くの?)▶んまんき(ひるんが?)〈行先・疑問  
詞たすね文〉

どこに(いるか?)▶んみ(ぶんが?)〈ありか・疑問詞たす  
ね文〉

所に▶どうぐるに

所には▶どうぐるにや

所も▶どうぐるばぎん/どうぐるん。

年の▶とうちぬ

と  
取った▶とわん/とうたん。

取ったと▶とわんでい/とうたんでい。

取っている▶とういぶん

と  
飛ぶ▶とうぶん

ともだち  
友達と▶どうちとう

とも  
友とせよ▶どうちぎり

と  
取り/取って〈連用形〉▶とうい

と  
撮り/撮って〈連用形〉▶とうい

撮り▶うつい

取りに▶とういんでい

撮りに/写真しやしんを写しうつに▶うつしんでい

(写真を)撮る▶うつん/とうるん。

飛んで〈連用形〉▶とうび/とうびてい。

飛んでいくのを▶とうびひるんす

## な

ないかもしれない/ないだろう。▶みぬはでい

なお  
直る▶ぬるん

なか  
中に▶ながに/ながんき。

な  
ごえ  
鳴き声▶なていく。い

…なさる▶連用形+わるん 〈動作をする人を敬う言い方〉

なった▶なん／なたん。

なったぞ／なっただろ▶なたんさい／なんさい。

なったよ▶なたんど／なんど。

～なって〈連用形〉▶ないてい／ない。

なっていた▶ないぶたん

なっている▶ないぶん

なっているぞ▶ないぶんど▶

～など▶～んた

何か？▶ぬや？ 〈疑問詞たずね文〉

何が▶ぬが

何して▶ぬーきてい

何に▶ぬんき

何を▶ぬば

～だから／～なので▶～んがら

～なので▶～び

那覇▶うんな／うんなぬちま。

那覇の▶うんなぬ／うんなぬちまぬ。

名前である▶なーどうないぶる

名前は／名前や▶なーや

習<sup>なら</sup>い／習<sup>しゅうかん</sup>慣 ▶ ならい

習いに ▶ ならいんでい

習う ▶ なるん

習<sup>れんぼうけい</sup>って 〈連用形〉 ▶ ならいてい

習っている ▶ ならいぶん

習っているかな ▶ ならいぶるかや

習ってみようよ ▶ ならいんにんだぎ

なりたいと ▶ ないぶさんでい

何<sup>なん</sup>と／なぜ／どうして ▶ ぬんでい

何の／どんな～ ▶ ぬんにぬ

## に

～に／～へ(場所にかかる)／～に(受け身文の動作の主体) ▶ に／んき。

似<sup>にあ</sup>合う ▶ あたるん／うちるん／あだしーだし 〈古語〉／ふでいあん 〈古語〉／んさん。

似合っている ▶ にあいどうぶる／あたいぶん／うちりどうぶる／うちりぶん。

似合っているから ▶ んにどう ぶんがら／あたいぶんがら／うちりぶんがら。

～には▶～にやばしょ〈場所をあらわす名詞めいしのあとにくっついて〉

には▶んきや

人気にんき▶にき／にんき。

人気の▶にんきぬ

## ぬ

ぬかるみどころ／どろんこの所ところ▶‘たぶす

沼地ぬまちに▶①くむいんき／に。②みっとうんき／に。

年頭ねんとう▶にんとう

年頭の▶にんとうぬ

## の

(…する／…した／…するもの)の／もの／こと▶こう働  
詞・形容詞しの連体形けいようしのあとにくっつける〉～んす

のに〈反対・うらめ・比べせつぞくしの接続詞。つなぎ言葉ことば〉▶～が／～んでや。

…の人▶…ぬ ‘とう

## は

はーりー▶はーりー／はり／はりすぶ。

はーりー(の日)▶どうがぬち／どうがぬひ。

はーりーの▶はーりーぬ／はりすぶぬ。

はーりーは▶はーりーや／はりすぶや。

はい▶いえ(めした)(目下に)／うお(めうえ)(目上に)。

入って〈連用形〉▶はい／はいてい。

ハイビスカス(しよくぶつ)〈植物〉▶あかばな／あがばな。

入って〈命令〉▶はり

墓参り(はかまい)▶はがまいり

墓参りに▶はがまいりんき▶

始まり(はじ)ます／始まる▶はでいまるん

芭蕉布(はしやうふ)〈植物〉▶ばす▶

走り回(はしまわ)って▶かぎらいみく°いてい

走り回る▶かぎらいみく°るん

葉で▶はし

花が▶はなが°

話して～／呼んで～〈連用形〉(れんようけい)▶あびてい(呼んで)／  
はなしきてい。

話して／呼んで〈命令形・頼む形〉(めいれいけい・たのむかたち)▶あびり／はなしきり。

花だったら▶はなあいがらや／はなあたや。(まえおき・かてい)〈前置き・仮定〉

バナナ▶ばすぬない

花の▶はなぬ

はや  
早かった▶はやたん

早かったので▶はやたば

早く(しろ)!▶あばていり

早く~▶たいぐ/はやぐ

はればれと▶すりすり

はればれとした▶すりすりきてい/ちむすり。

ひ

比川に▶はいむら/ひない→ひがわ(戦後)/んでい  
/んでいむらんき。

ひき  
率いて〈連用形〉▶すいてい

引け▶すんき(綱を引く)/‘ていき(縄や棒を引く/  
抜く/取り出す)/ひてい(数字を引く)

引けと▶すんきんでい/ひっきんでい

ひざ  
膝▶んぶち

ひだり  
左の▶んだいぬ

ひと  
一つ▶‘とうち

一つは▶‘とうちや

ひ  
日は▶ちや

ひょうきん者▶うむつつあるとう/ふりふりぬとう。

病弱びようじやくそうだけど健康けんこうな人 ▶ だみとうんにきどうぶが、  
んさんさい

病弱な生まれ ▶ だはらさまり

病弱な人 ▶ だはらさる ‘とう

病弱で ▶ だはらさ

昼ひるの ▶ つまぬ

ヒレザンショウ 〈植物〉 ▶ さんす

ビロウ しよくぽつ 〈植物〉 ▶ くば

ふ

ふくらはぎ ▶ ちにくら

仏壇ぶつだん ▶ とうぐ

降ふっている ▶ ふいぶん

筆ふで ▶ ふでい

ふやかす ▶ ふとうんかん

故郷ふるさと ▶ まりちま / まりでいま。

故郷の ▶ まりちまぬ / まりでいまぬ。

へ

勉強べんきょう ▶ べんきょー / むぬならい。

# ほ

ハウセンカ しよくぶつ〈植物〉▶きんたくぬはな

ハウセンカの▶きんたくぬはなぬ

ほか他には▶ふがにや

他の▶ふがぬ

ほめられた▶ふみりたん

ほめる▶ふみるん

# ま

ま待ち遠しい▶どおたぶらび／まていとわどうある／まていとわぬ。

まつげ▶まちなぎ／みぬまんぎ／みまゆ／みまんぎ。

まつげは▶まちなぎや／みぬまんぎや／みまゆや／みまんぎや。

ま真しろっ白▶つだーり／つだり。

まつ祭り／ぎょうじ行事▶ぶつじきだり(仏事)／しょうぶすぶんぐとう(勝負ごと)／こじんてきどうどう(個人的な法事)／しんじまちり(神事など)。

まんいっさい満一歳のいわ誕生日祝いに▶たんかぬどわい／だい

まんぞく満足する▶あやひーんでいうまりる／ちむすり／ち

むふぐん。

み

見<sup>み</sup>えて 〈連用形〉 ▶んなり

見<sup>み</sup>えてくるものが ▶んなりるむぬが

見<sup>み</sup>えない ▶んなにぬん

見<sup>み</sup>えるが ▶んなりるが

右<sup>みぎ</sup>と ▶にでいとう

見<sup>みごと</sup>事 ▶きびさん／みぐとう。

見<sup>みごと</sup>事な ▶きびさる／みぐとうな。

見<sup>み</sup>たか ▶ん(に)たな／んにやな。

見<sup>み</sup>ない ▶んなぬん

見<sup>み</sup>に ▶んにんでい 〈目的〉

見<sup>みまも</sup>守った ▶みまぶい／みまぶいきたん／みまぶいきやん。

見<sup>みまも</sup>守っていたと ▶みまぶいきぶたんでい

見<sup>みまも</sup>守っている ▶みまぶいきぶる

見<sup>みまも</sup>守る ▶みまぶいきるん

見<sup>み</sup>るよ／見<sup>み</sup>るぞ ▶んぬんど

みんなの ▶ぶーるぬ／むーるぬ。

# む

むかし

昔の▶んかちぬ

昔の人の▶んかちんとうぬ

昔は▶んかちや

むし

虫かご▶だぐかぐ／むちいりるかぐ。

虫かごには▶だぐかぐにや／むちいりるかぐぬ。

むずか

難しいね▶むちかさんいえ

むなさわ

胸騒ぎする▶ちむむいつありるん

胸騒ぎするさま▶いみあんまさ

むほん

謀反▶がいき(害する)／‘ていんかい(口応え)／ていんかい(手向かう)。

む

群れ／臣下たち▶しんかんた／ぶり／むり。

# め

め

召し上がる▶うやん

# も

もう

申し上げあ〈連用形〉▶つあり

申し上げます／申し上げます▶つありるん

もち  
餅▶むてい

もったいない▶むったいみぬん

も  
持っていた▶むていぶたん

持っていたから／ので▶むていぶたば／むていぶた  
るゆんがら／むていぶたんがら。

～もの▶～むぬ

ものがたり  
物語▶むぬがた

さび しず  
もの寂しく静まっている▶ふるんたいぶん

や

こゑ  
やあ(声をかけるとき)▶やあ

やさい  
野菜▶ださい

やさ  
優しく▶なだやしく

やしき  
屋敷▶だしき

やしな  
養う▶‘かぬん

養っている▶‘かないぶん

やす じかん なかやす  
休み時間▶ながどうぐい(中休み)

休み時間の▶ながどうぐいぬ

休み時間は▶ながどうぐいや

やってきた／きた。▶すん

やった／行ったおこな ▶ いしゃん

やりなさいよ ▶ いりよ

やりなさいよ ▶ いりよ／いりんでやなおこ（怒っている印  
象しょう。より強つよく命令めいれいしているニュアンス）。

やる ▶ いるん

やって／行ってれんようけい ▶ いし

やろうかな ▶ いるかや

やわらかい ▶ だらん

やわらかく ▶ だらーたてい

ゆ

湯のみ ▶ さばん

湯飲ゆのみ茶ちやわん ▶ さばん

よ

～よ／～さ ▶ ～ど

良い／よろしい ▶ どうとう／んさん。

良いお正月しょうがつ／良いお正月です ▶ いーすがてい

良いお正月になったね ▶ いーすがていどう ないぶる

良いではないか ▶ んさ あらぬない

良い日 ▶ いーち

～ようだ ▶ あていがい

ようだ / まるで～ようだ(たとえ) ▶ ～んにどう ぶる

良かった ▶ んさたん

良かったね ▶ んさたんえ

呼ばれていた / 言われていた ▶ あびらりぶたん / ん  
だりぶたん。

よろしく ▶ たんでい

よろしくお願ねがいします ▶ うかも / たんでい / たんでい  
どうーでいん。

呼んだ ▶ あびたん / あびゃん。

読んでいる ▶ どうみぶん

読んでいるか ▶ どうみぶな? 〈YesNoたずね文〉

ら

…らっしゃい ▶ …いしわり

り

理り科か / 理科の ▶ りか

リュウキュウマツ しよくぶつ〈植物〉 ▶ まち

りょう し  
漁師 ▶ いすんとう

漁師たちから ▶ いすんとうんたがら

れ

レストラン ▶ いーはいどうぐる / いーはいみしや。

レストランに ▶ いーはいどうぐるんき / いーはいみ  
しやんき。

わ

わか  
若い ▶ ばがん

若く～ 〈連用形(特徴の並べ、原因、理由を表す)〉 ▶ ばがび

わざわ  
災い ▶ さばい / だぐ / ‘たたい。

わす  
忘れちゃった / 忘れてしまう ▶ ばちみぬん

忘れた ▶ ばつん

忘れる ▶ ばちるん

忘れるな ▶ ばちんな

忘れるなよ ▶ ばちんなよ

私たちの 〈聞き手<sup>き</sup>を含まない〉 ▶ ばぬ ばー

私たちの 〈聞き手を含む〉 ▶ ばんたぬ

私にも ▶ あぬんきばぎん

---

私の ▶ あが

---

私の家の / 我が家の ▶ ばー / ばやぬ。

---

私は ▶ あぬや

---

私も ▶ あぬばぎん あぬん

---

## あ と が き

この度、沖縄県しまくとぅば普及センターから「どうなんむぬい単語帳 中級」が発刊されることになりました。この単語帳は、どうなんむぬい(与那国方言)を話し、教えてくださったみなさま、与那国教育委員会の皆さま、そして、与那国島の多くの方に支えられて作ることができました。心より、深く感謝申し上げます。

この単語帳の特徴は、共通語引きと与那国語引きがあることです。このことは、どうなんむぬいを学びたい子ども、大人にとって大事なことです。なぜなら、ふだん子どもたちが話したり聞いたりするのは共通語だからです。共通語引きがあることで、これから学ぶ子どもたち、大人たちにとって、共通語で話したり、書いたり、考えたりしていることを「どうなんむぬいでどう言えばいいのかなあ」という悩みに応えることができます。逆に、与那国語引きがあることで、どうなんむぬいを話す人が、自分で感じていることや考えていることを、共通語を話す子どもや大人にどのように伝えればいいのか、それにも役立ちます。

どうなんむぬいと共通語の言葉のつながり・共通点をしっかりさせることで、どうなんむぬいを何よりもまず受け継いでほしい子どもたちが、使えるようになる土台・きっかけを作ることができます。そして、ことばのつながりが、与那国島の子どもと大人のつながりになっていくでしょう。

しかし、どうなんむぬいと共通語の言葉の対応(共通点)だけでは、十分ではありません。対応しているなら、使い慣れた共通

語の言葉だけでも表現できるのであって、どうなんむぬいを使わなくてもいいと言ったりして、どうなんむぬいの特徴、個性をよく知らないことにつながってしまいます。なので、どうなんむぬいと共通語の言葉の対応(共通点)だけでなく、ふたつの言葉の違いについても知っておかなければなりません。

実際、この単語帳の中にも、どうなんむぬいと共通語の言葉の対応を示しているだけでは分からない言葉がたくさんあります。たとえば、「おいしいそうだ」にあたるどうなんむぬいは、「まるんに ぶんすや」「まぶたんすや」となっていて、それらには微妙なニュアンスのちがいが反映されているのでしょうか。このような微妙なニュアンスのちがいを表す言葉は他にもいっぱいあります。微妙なニュアンスのちがいを表す、豊かなどうなんむぬいの言葉を学ぶことは、身の回りのものや人を見る子どもの見方、感じ方を豊かに育てることにつながります。

あいさつなどに使う、簡単などうなんむぬいだけで終わるのではなく、このような豊かなどうなんむぬいの言葉をこれから見つけていく必要があります。どうなんむぬいも宝です。この単語帳を読んで、つかって、たくさんのどうなんむぬいの宝をみんなで探していきましょう！「あいぐ はんきどう どうるやびっかる！」

目差尚太

## どなんむぬい単語帳 中級

発行日：2023年(令和5年)3月31日

編集：沖縄県・しまくとぅば普及センター

与那国方言辞典編集小委員会

田頭 政英

新里 恵美子

上地 艶子

譜久嶺 マリサ

真地 保考

監修：目差 尚太(沖縄国際大学／日本学術振興会特別研究員PD)

発行：沖縄県文化観光スポーツ部 文化振興課

印刷：株式会社メディアプレス

非売品



あいぐん ▶ ①歩く。②走る。

あいたらし/あいていらし ▶ かけっこ

あいたらし ぎるん ▶ 走る

あいび ▶ ~なのて

あが ▶ 赤

あが ▶ 痛っ(どこか痛めた時に言う言葉)

あが ▶ わたしの

あがい ▶ 東

あかー ▶ 痛っ(どこか痛めた時に言う言葉)

あかが ▶ 赤ちゃん

あかてい ▶ 赤ちゃん

あがみ ▶ 子。子ども。

あがみ ▶ 赤い

あがみてい ▶ 子。子ども。

あがみんた ▶ 子ども

あがや ▶ 二枚貝

あかやゆー ▶ 痛っ

あがん ▶ 明るい

あがん ▶ 赤い

あがんたい ▶ 赤い

あぎだん ▶ トンボ

あぎるん ▶ ①開ける。②開く。

あぎるん ▶ 上げる

あく ▶ 仲間

あく ▶ あご

あざ ▶ おじいさん

あさたてい ▶ 浅い

あさ(っ)てい ▶ 明後日

あさん ▶ 浅い

あし ▶ 汗

あそ ▶ おじいさん

あ(っ)た ▶ 明日

あたいぶん ▶ 正しい

あたびた ▶ カエル

## 沖縄県しまくとぅば普及センター

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 文化振興課内

☎098-988-0411

<https://shimakutuba.jp>